

子育て支援に関するアンケート調査
報 告 書
(速報版)

宇 部 市

I 調査の概要

1. 調査の目的

平成27年度から5年間を計画期間とする「宇部市子ども・子育て支援事業計画」において、確保すべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、現在の利用状況や今後の利用希望を把握するとともに、保護者が、子育てについて日頃考えておられることなどをお伺いし、それらを計画に反映するために実施するものです。

2. 調査設計

- | | |
|----------|--|
| (1) 調査地域 | 宇部市全域 |
| (2) 母集団 | 就学前児童調査 小学校就学前の児童のいる世帯 1,500世帯
小学校児童調査 小学校在学中の児童のいる世帯 1,500世帯 |
| (3) 抽出方法 | 無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布郵送回収 |

3. 回収結果

有効回収数（率）	就学前児童調査	704（46.9%）
	就学児童調査	716（47.7%）

4. 報告書の見方

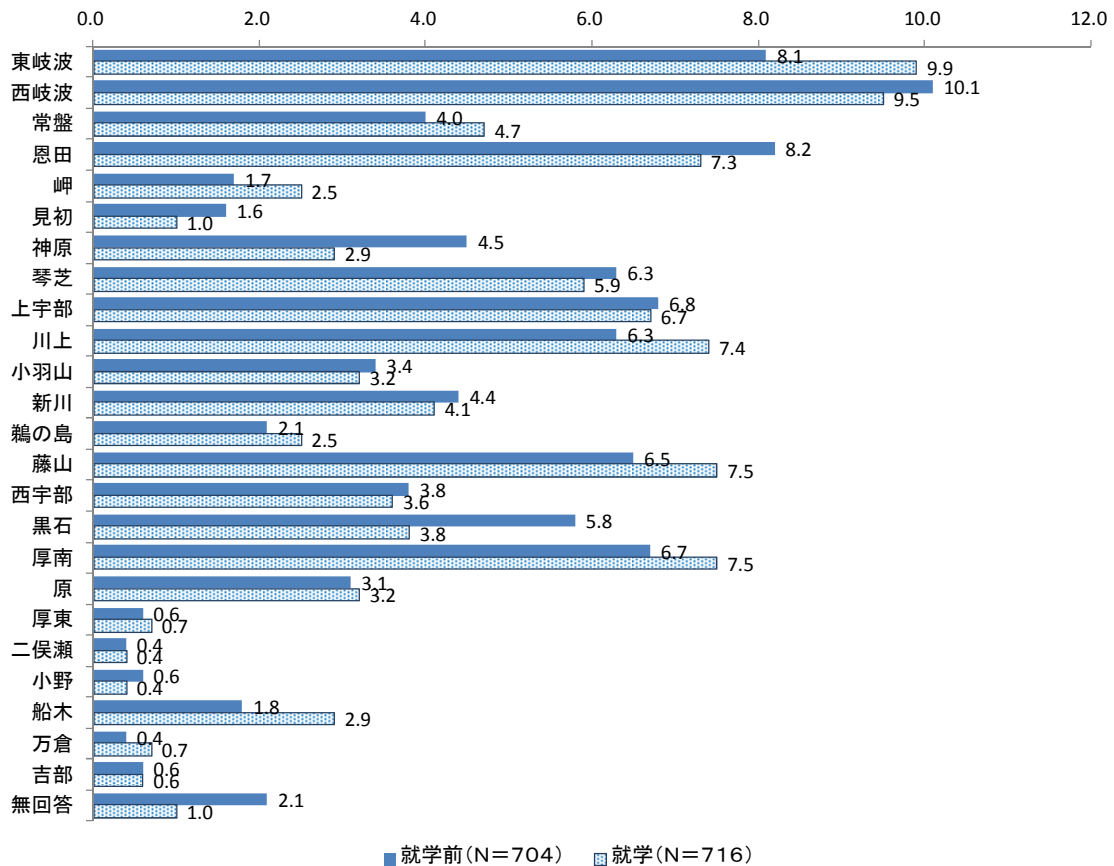
- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とまらない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

II 調査結果

ご家族の状況についてうかがいます。

■住まいの地域

住まいの地域について、就学前では「西岐波」「恩田」「東岐波」、就学では「東岐波」「西岐波」「藤山」「厚南」と回答した割合が高くなっている。

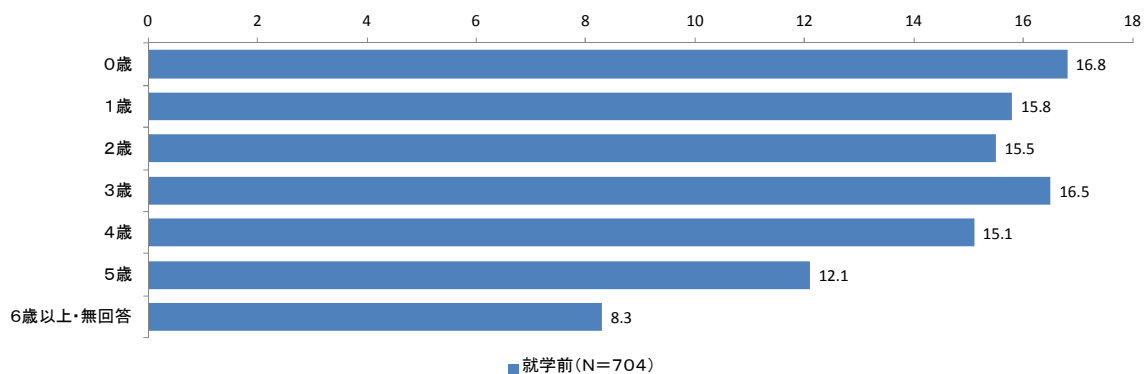


■お子さんの年齢

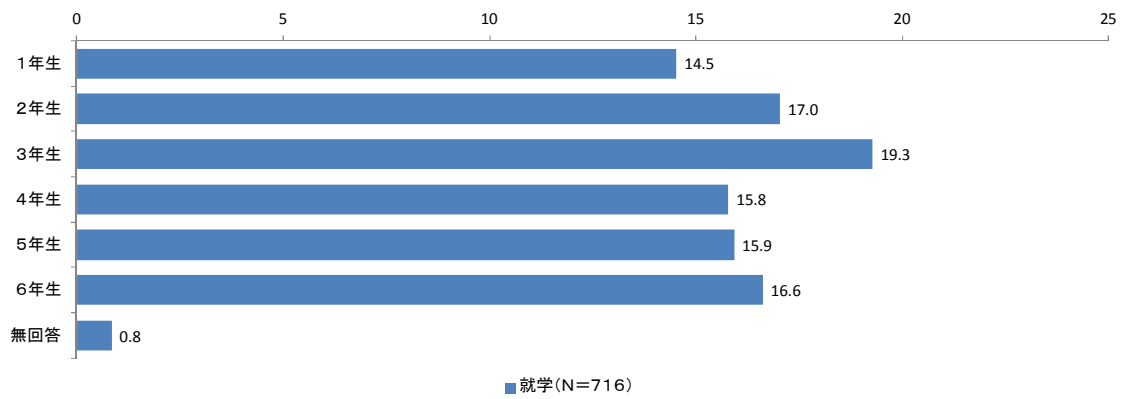
年齢について、就学前では、「0歳」と回答した割合が16.8%と最も高く、次いで「3歳」(16.5%)、「1歳」(15.8%)の順になっている。

就学では、「3年生」と回答した割合が19.3%と最も高く、次いで「2年生」(17.0%)、「6年生」(16.6%)の順になっている。

【就学前】

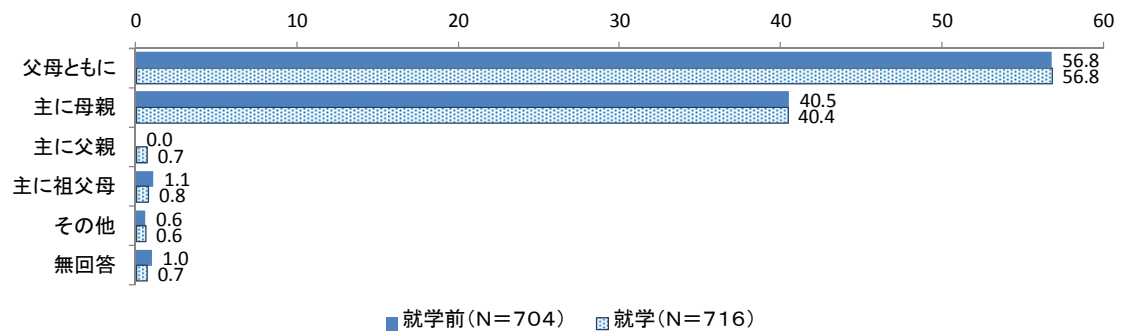


【就学】



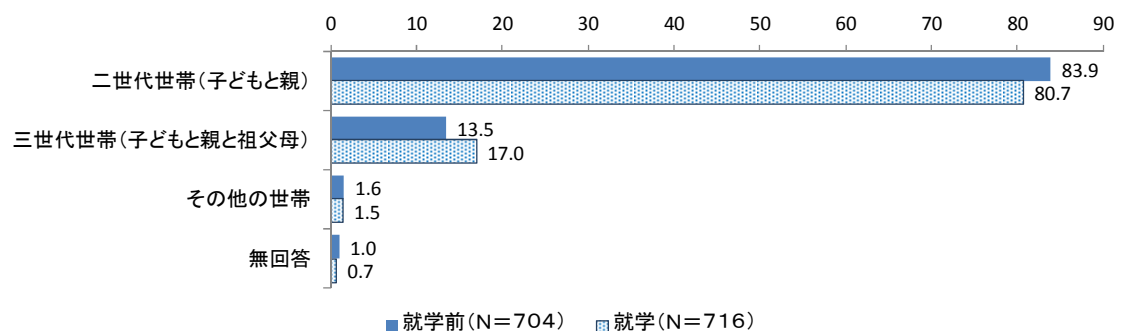
■お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方

お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方について、就学前・就学ともに「父母ともに」と回答した割合が6割程度と最も高く、次いで「主に母親」と回答した割合が4割程度となっている。



■家族構成

家族構成について、就学前・就学ともに「二世世代世帯（子どもと親）」と回答した割合が8割程度と最も高く、次いで「三世世代世帯（子どもと親と祖父母）」と続いている。

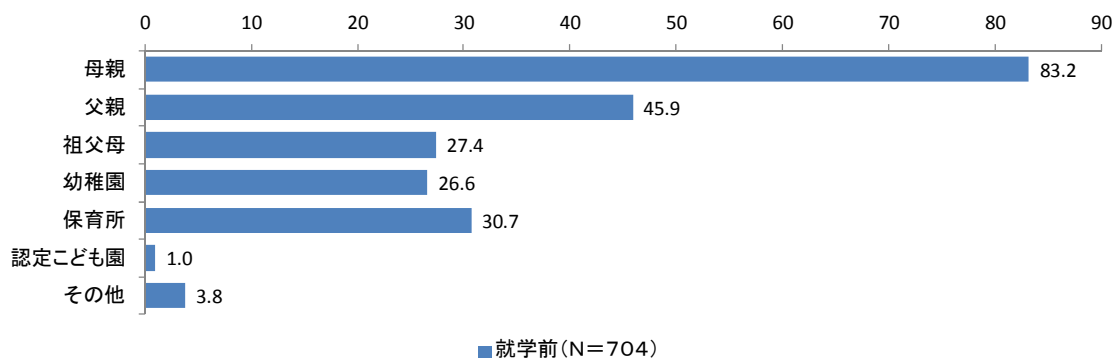


子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

■あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方

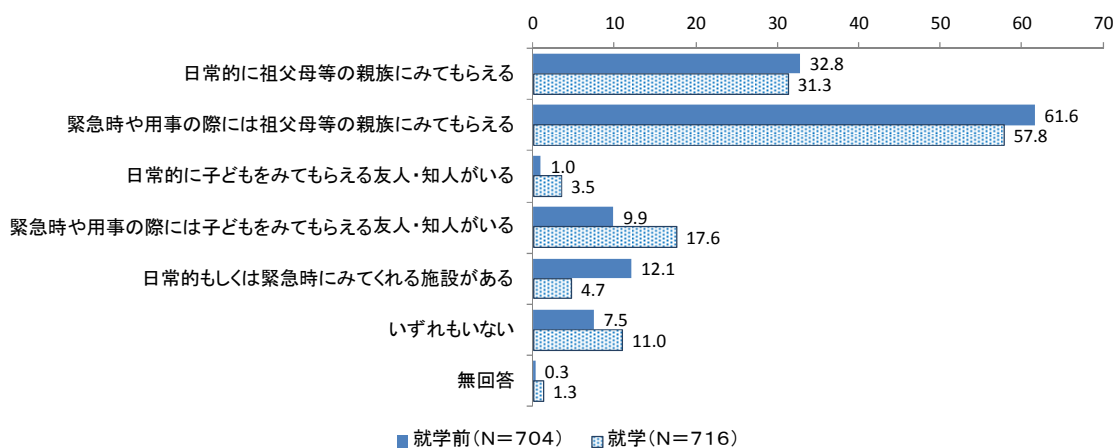
あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方について、「母親」と回答した割合が83.2%と最も高く、次いで「父親」（45.9%）、「保育所」（30.7%）の順となっている。

【就学前】



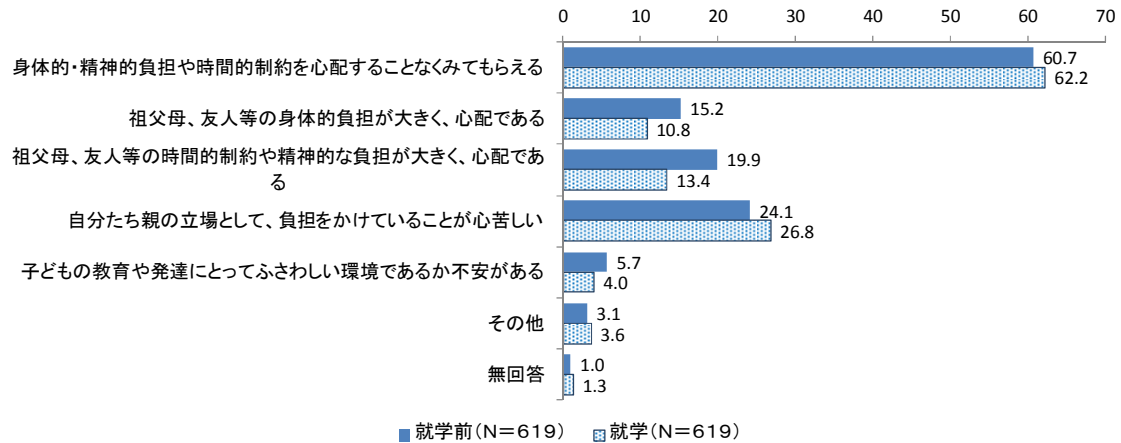
■日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人の有無

日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人の有無について、就学前・就学ともに「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が6割程度であり、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が3割程度となっている。



【祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況】

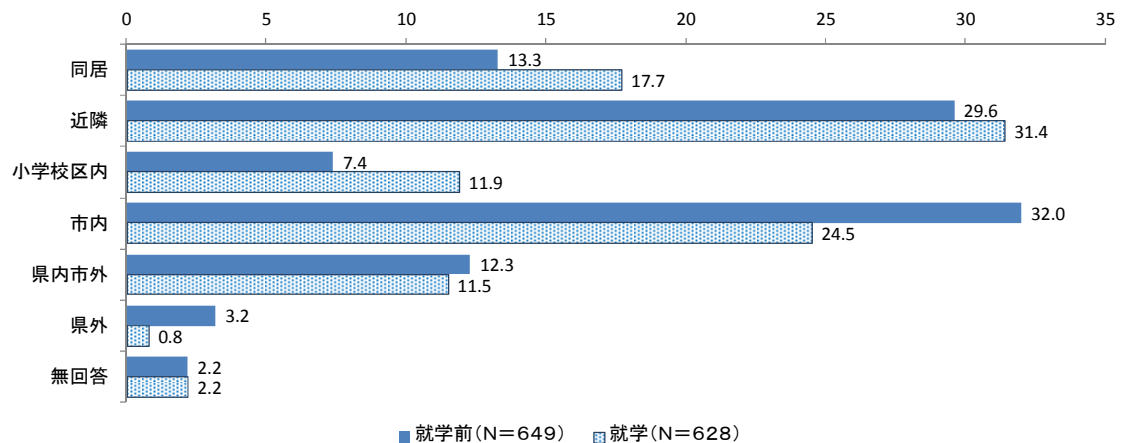
祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況について、就学前・就学ともに「身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなくみてもらえる」と回答した割合が6割程度であり、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と続いている。



【祖父母等の親族・友人・知人宅や施設の場所】

祖父母等の親族・友人・知人宅や施設の場所について、就学前では「市内」と回答した割合が32.0%と最も高く、次いで「近隣」(29.6%)、「同居」(13.3%)と続いている。

就学では、「近隣」と回答した割合が31.4%と最も高く、次いで「市内」(24.5%)、「同居」(17.7%)と続いている。

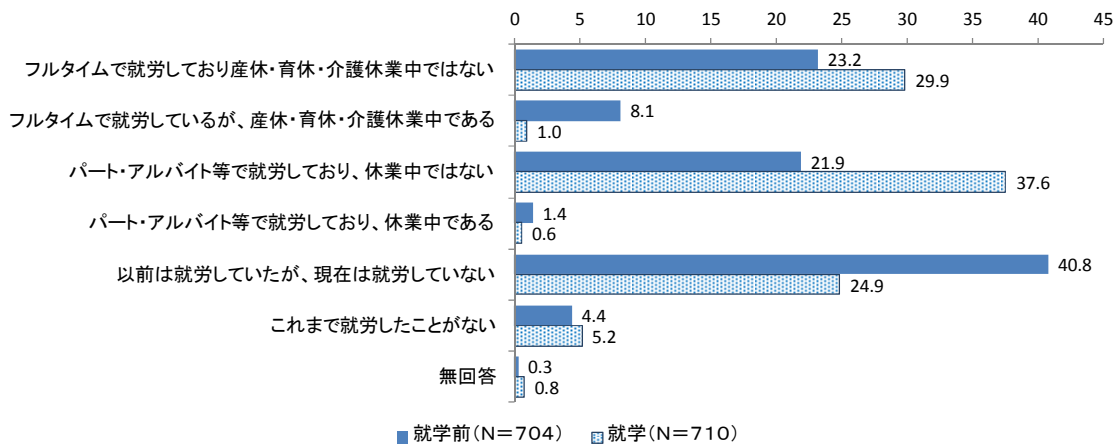


保護者の就労状況についてうかがいます。

■母親の就労状況

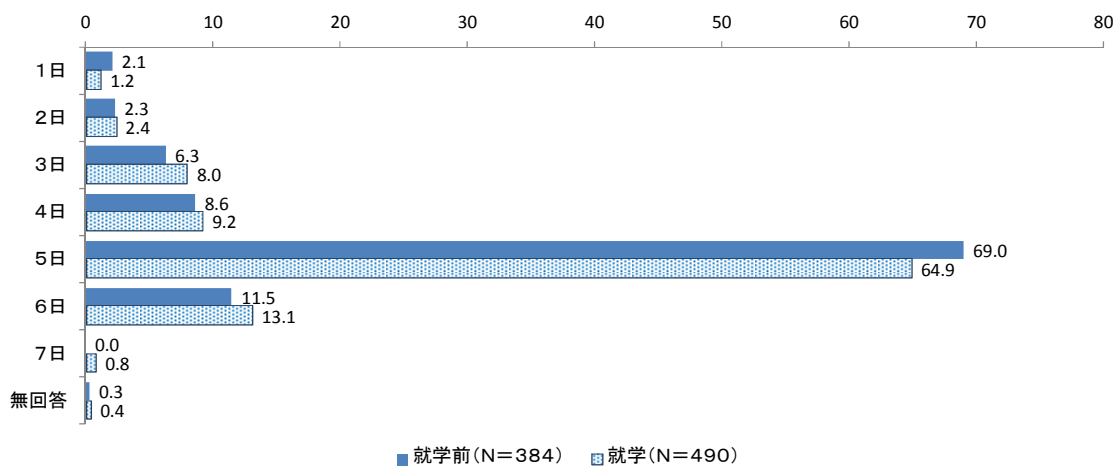
母親の就労状況について、就学前では「以前は就労していたが、現在は就労していない」と回答した割合が40.8%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(23.2%)、「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」(21.9%)の順になっている。

就学では、「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」と回答した割合が37.6%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(29.9%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(24.9%)の順になっている。



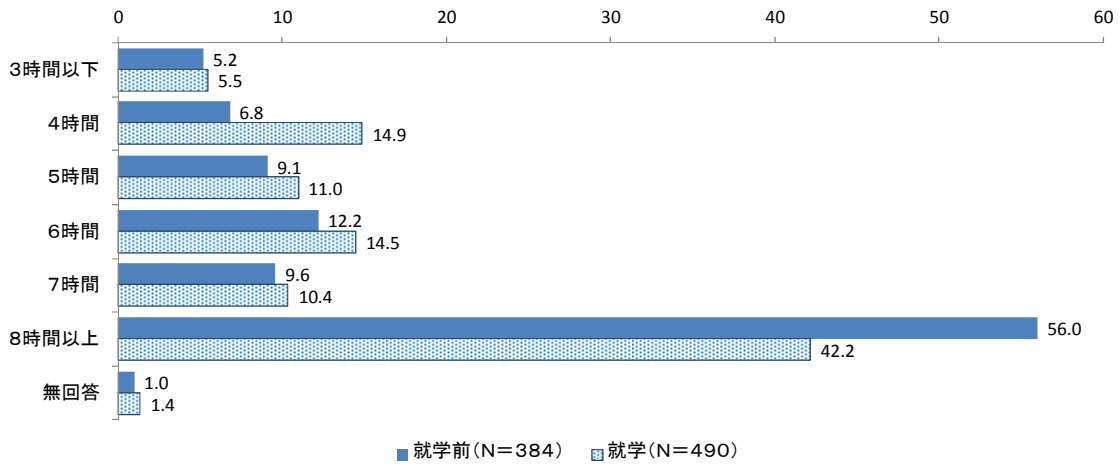
【就労日数（母親）】

就労日数について、就学前・就学ともに「5日」と回答した割合が6割以上となっている。



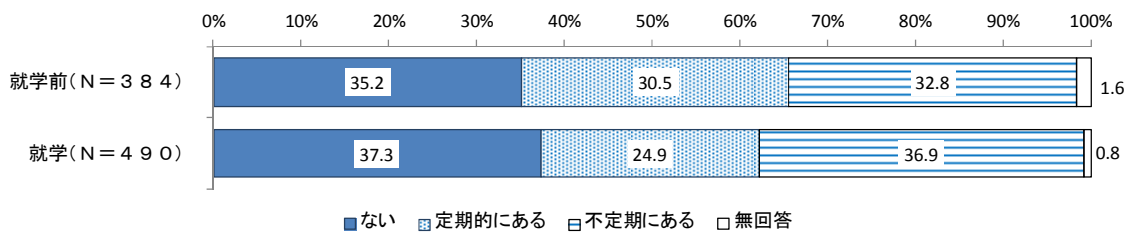
【1日の就労時間（母親）】

1日の就労時間について、就学前・就学ともに「8時間以上」と回答した割合が最も高くなっている。



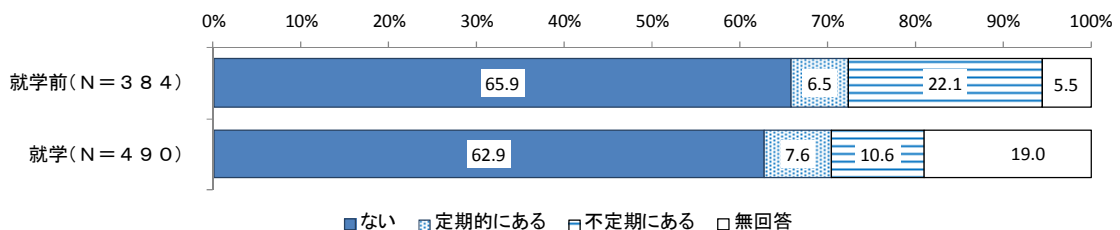
【土曜日の勤務（母親）】

土曜日の勤務について、就学前・就学ともに「ない」と回答した割合が最も高く、次いで「不定期にある」「定期的にある」の順になっている。



【日曜日の勤務（母親）】

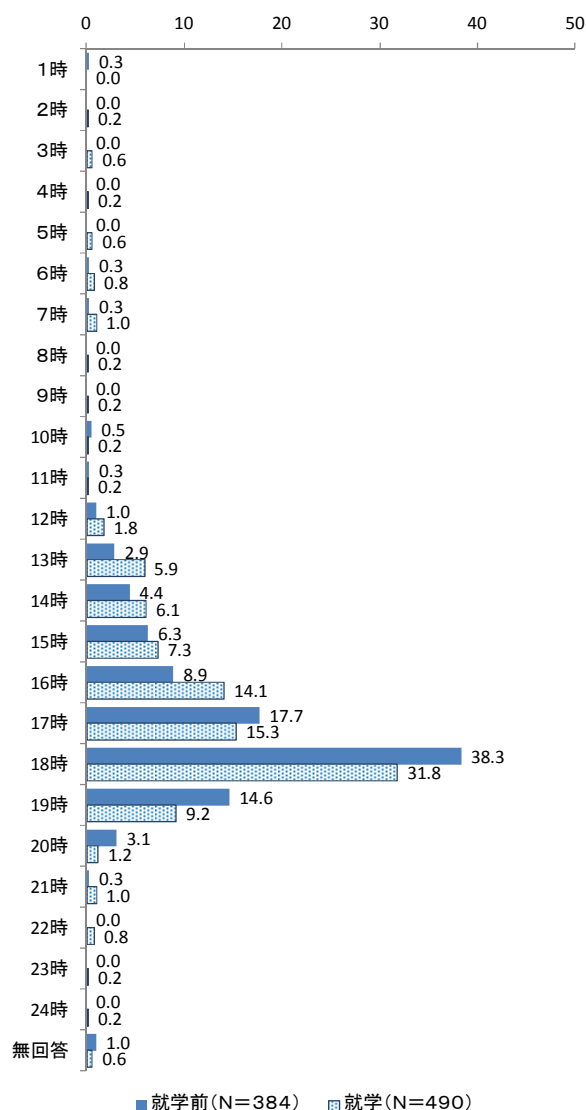
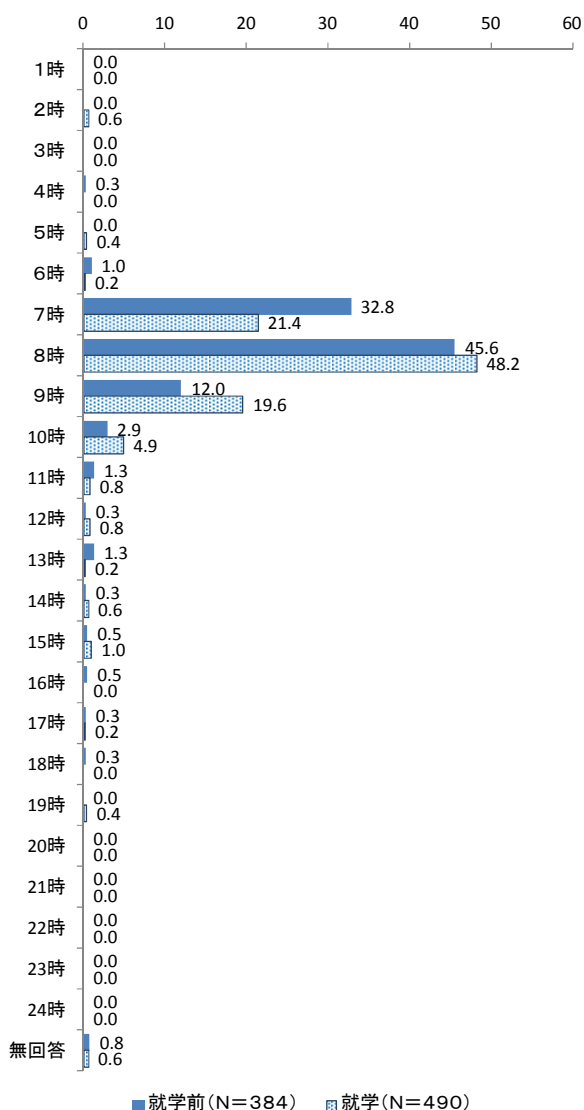
日曜日の勤務について、就学前・就学ともに「ない」と回答した割合が6割以上と最も高くなっている。



【家を出る時間（母親）】

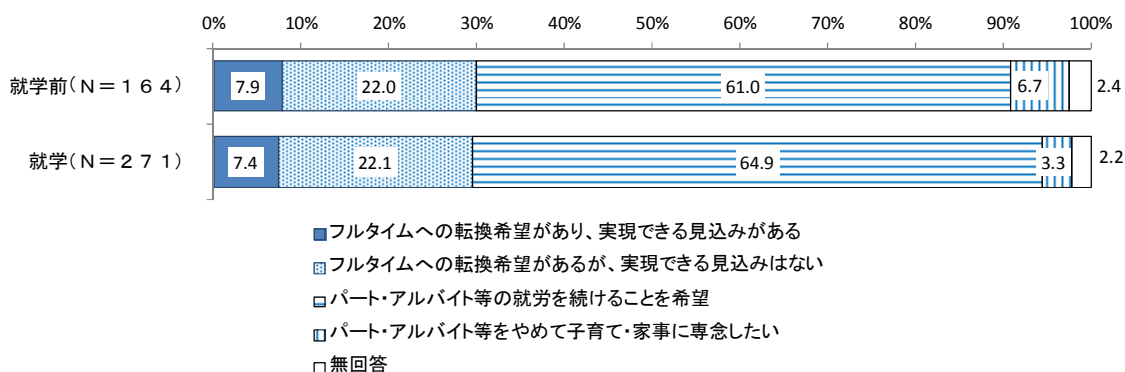
【帰宅時間（母親）】

就学前・就学ともに、家を出る時間については「7時」「8時」「9時」、帰宅時間については「17時」「18時」「19時」と回答した割合が高くなっている。



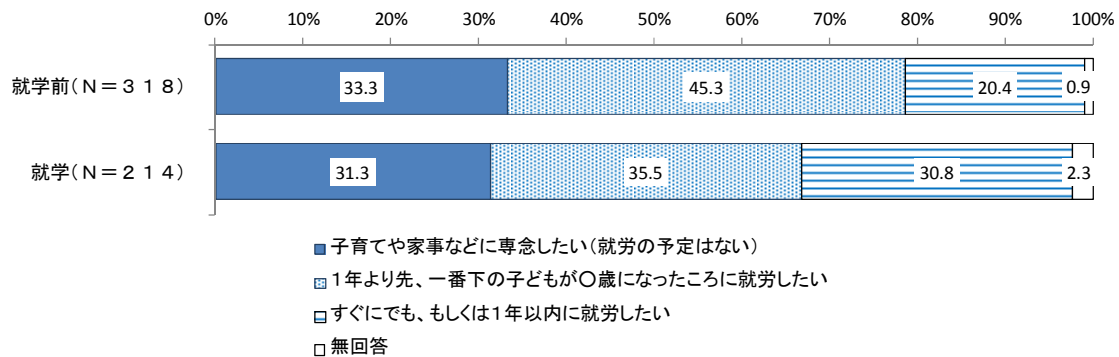
【フルタイムへの転換希望（パート・アルバイト・母親）】

パート・アルバイトのフルタイムへの転換希望について、就学前・就学ともに「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」と回答した割合が6割以上と最も高くなっている。



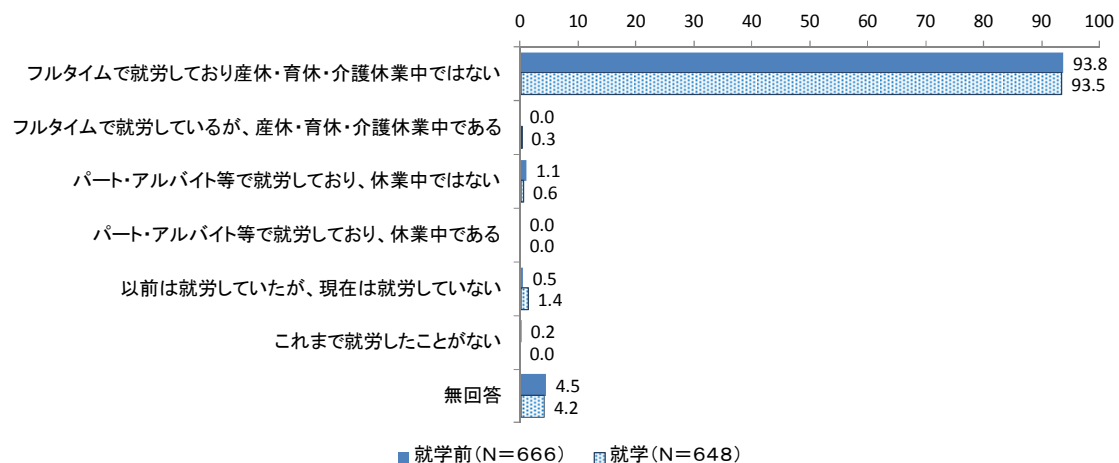
【就労希望（現在、就労していない・母親）】

現在就労していない母親の就労希望について、就学前では「1年より先、一番下の子どもが0歳になったところに就労したい」と回答した割合が45.3%と高く、就学では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合が30.8%と高くなっている。



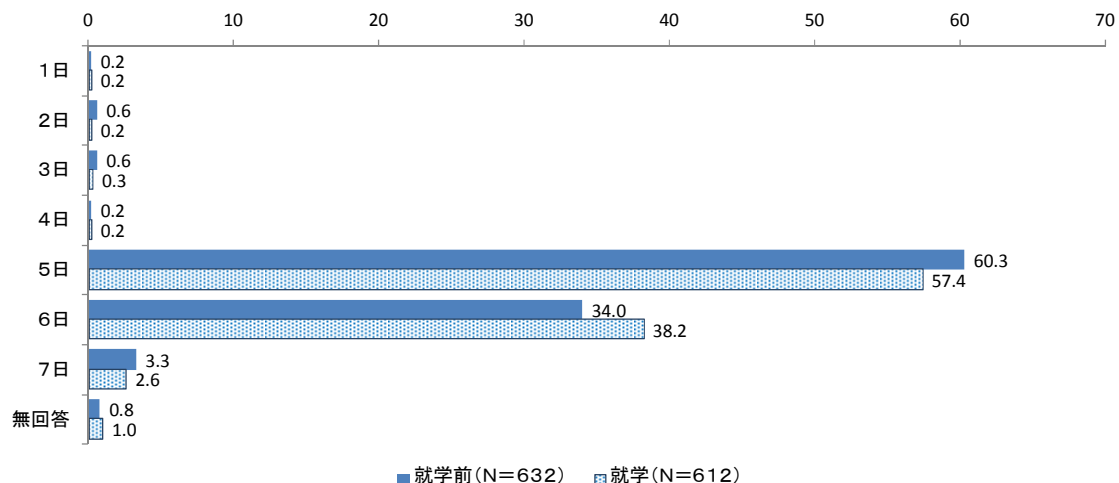
■父親の就労状況

父親の就労状況について、就学前・就学ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と回答した割合が9割以上と最も高くなっている。



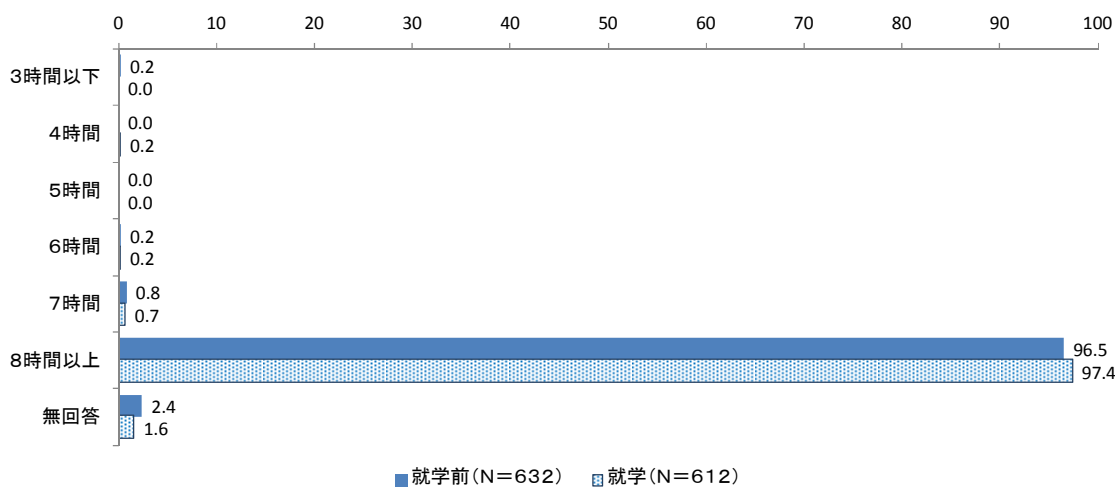
【就労日数（父親）】

就労日数について、就学前・就学ともに「5日」と回答した割合が6割程度と最も高く、次いで「6日」と続いている。



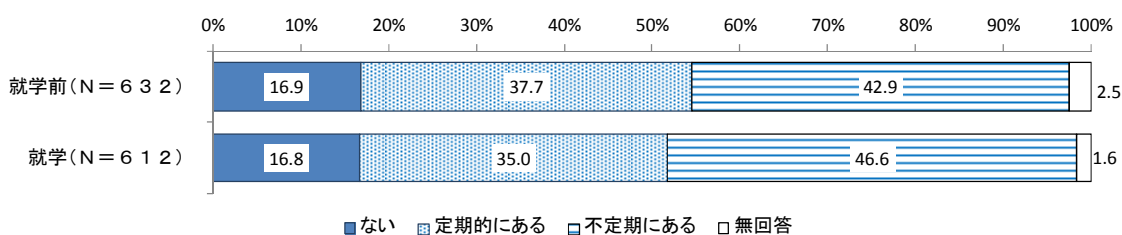
【1日の就労時間（父親）】

1日の就労時間について、就学前・就学ともに「8時間以上」と回答した割合が最も高くなっている。



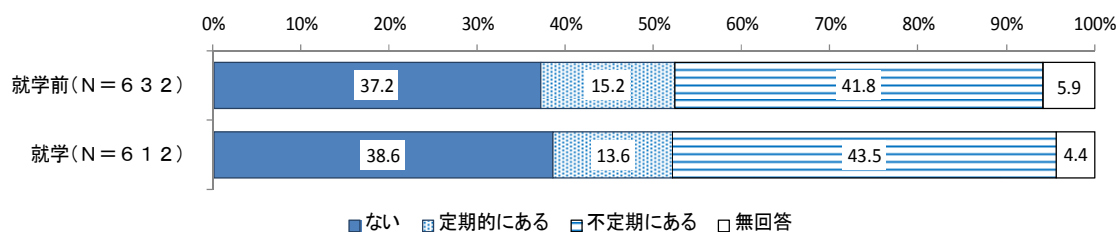
【土曜日の勤務（父親）】

土曜日の勤務について、就学前・就学ともに「不定期にある」と回答した割合が最も高く、次いで「定期的にある」「ない」の順になっている。



【日曜日の勤務（父親）】

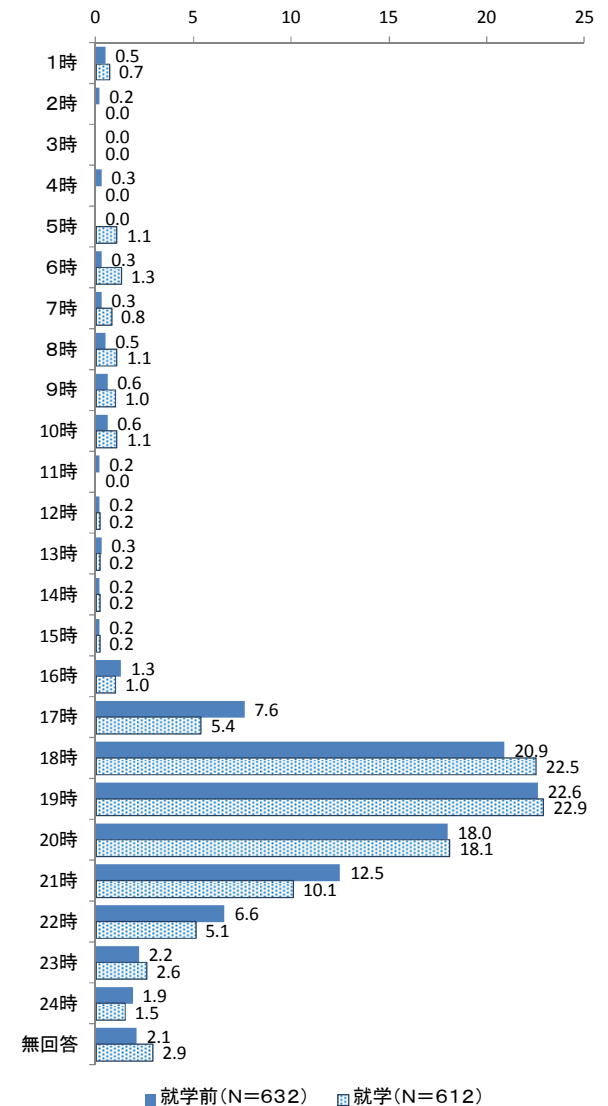
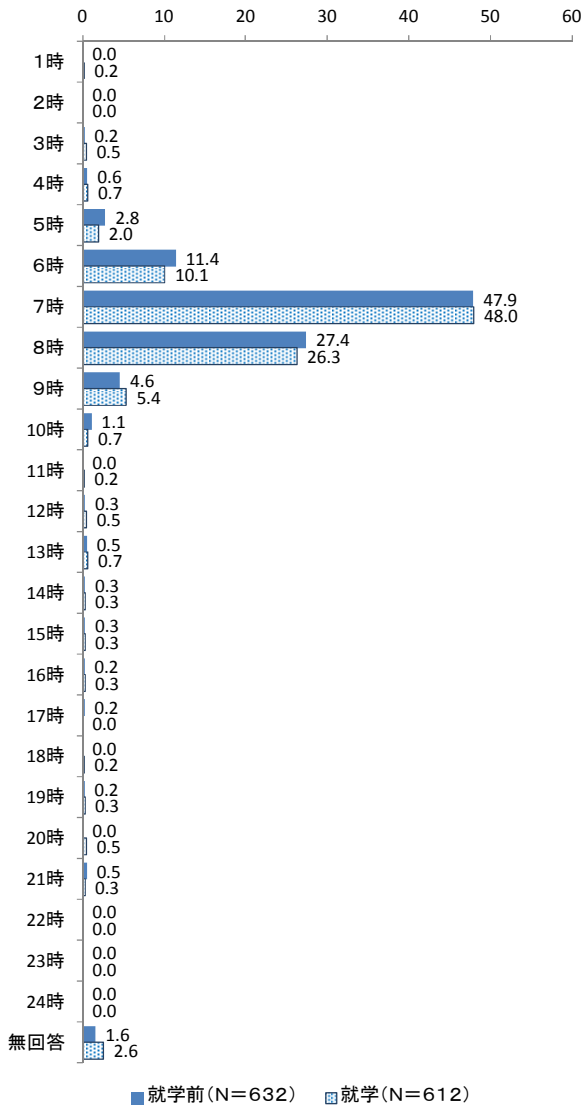
日曜日の勤務について、就学前・就学ともに「不定期にある」と回答した割合が4割以上と最も高くなっている。



【家を出る時間（父親）】

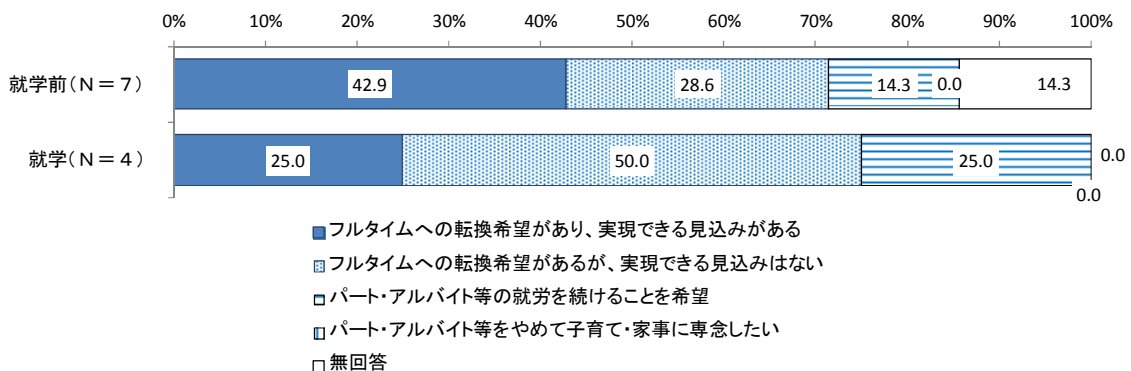
【帰宅時間（父親）】

就学前・就学ともに、家を出る時間については「7時」「8時」、帰宅時間については「18時」「19時」「20時」と回答した割合が高くなっている。



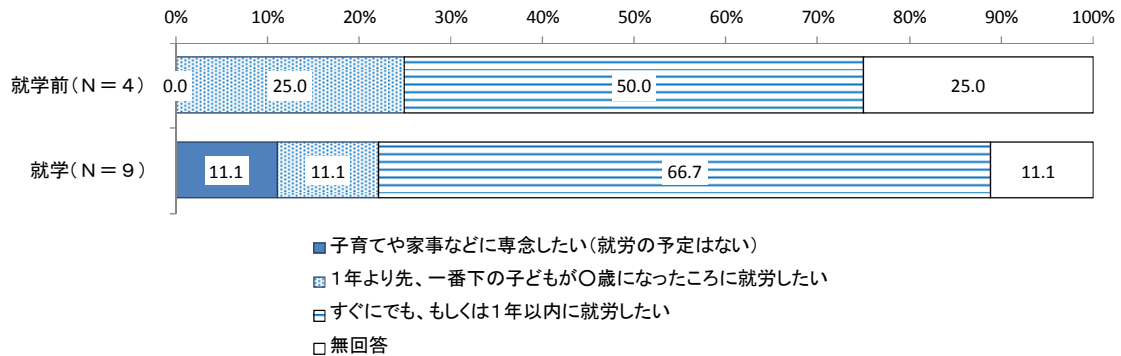
【フルタイムへの転換希望（パート・アルバイト・父親）】

パート・アルバイトのフルタイムへの転換希望について、就学前では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、就学では「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」と回答した割合が高くなっている。



【就労希望（現在、就労していない・父親）】

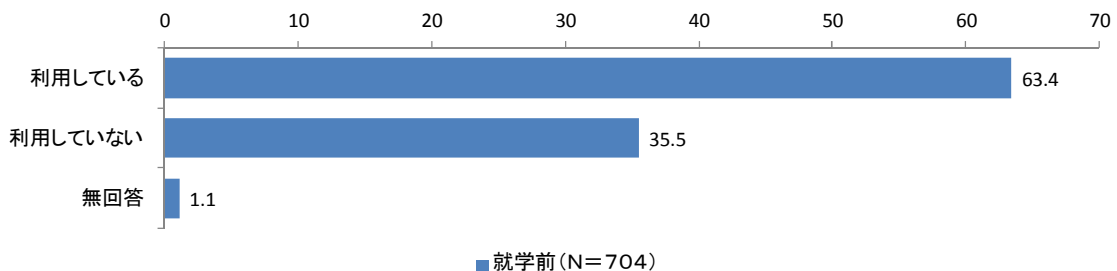
現在就労していない父親の就労希望について、就学前・就学ともに「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合が最も高くなっている。



あて名のお子さんの平日の幼稚園や保育園などの教育・保育事業
利用状況についてうかがいます。

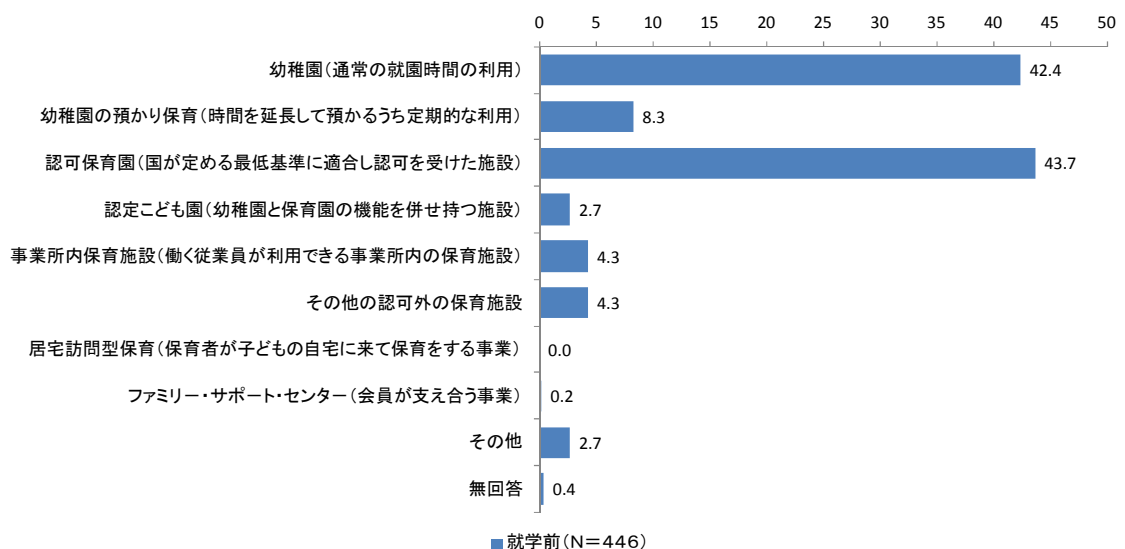
■幼稚園や保育園などの教育・保育事業の利用有無（就学前）

幼稚園や保育園などの教育・保育事業の利用について、「利用している」と回答した割合が63.4%、「利用していない」と回答した割合が35.5%となっている。



【平日利用している事業】

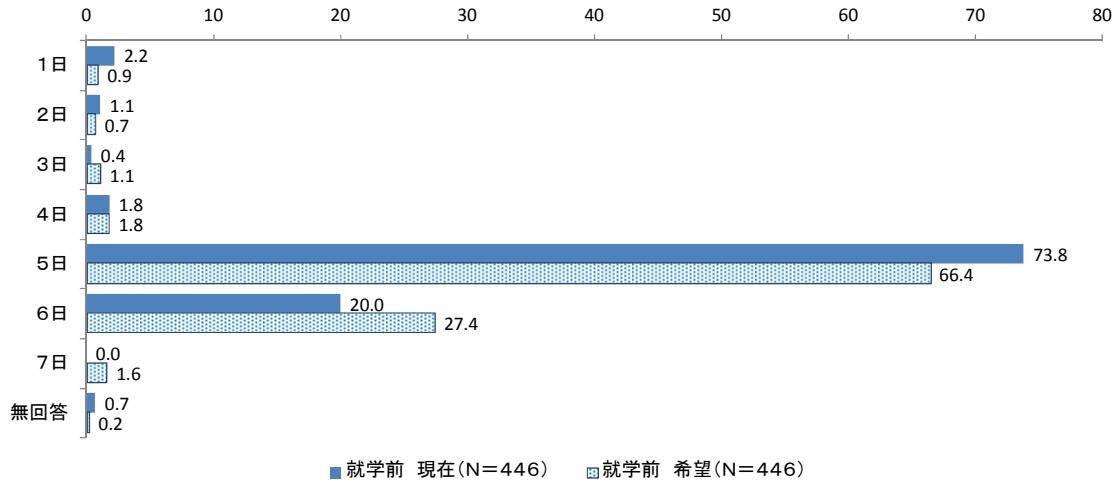
平日利用している事業について、「認可保育園」「幼稚園」と回答した割合が4割程度と高くなっている。



【平日の利用日数】

平日の利用日数について、現状では、「5日」と回答した割合が73.8%と最も高く、次いで「6日」(20.0%)と続いている。

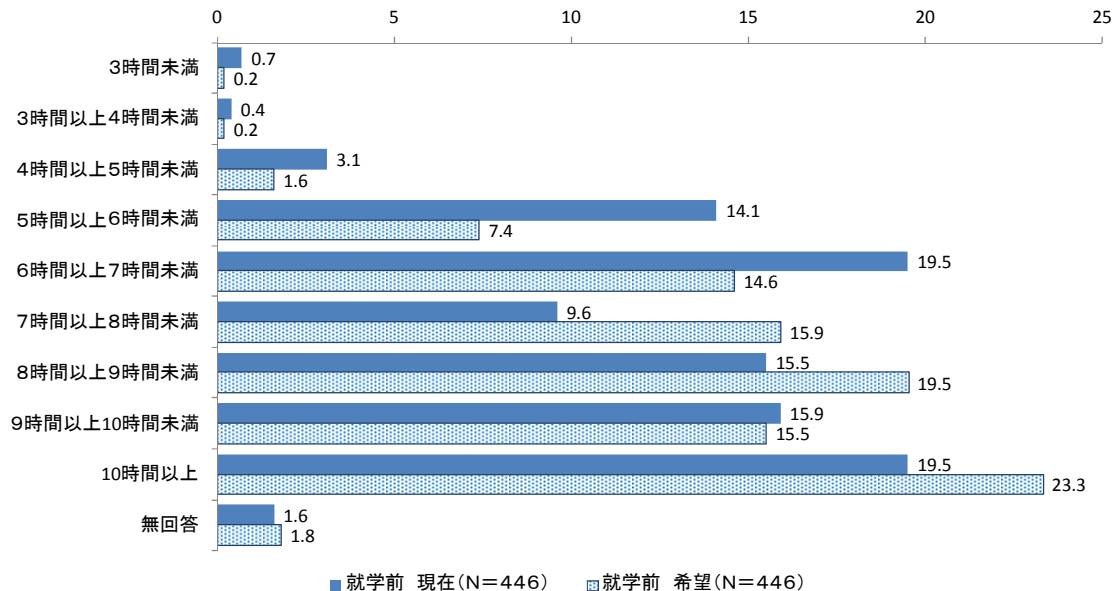
希望については、「5日」と回答した割合が66.4%と最も高く、次いで「6日」(27.4%)と続いている。



【平日の利用時間】

平日の利用時間について、現状では、「6時間以上7時間未満」「10時間以上」と回答した割合がともに19.5%と最も高く、次いで「9時間以上10時間未満」(15.9%)と続いている。

希望については、「10時間以上」と回答した割合が23.3%と最も高く、次いで「8時間以上9時間未満」(19.5%)と続いている。

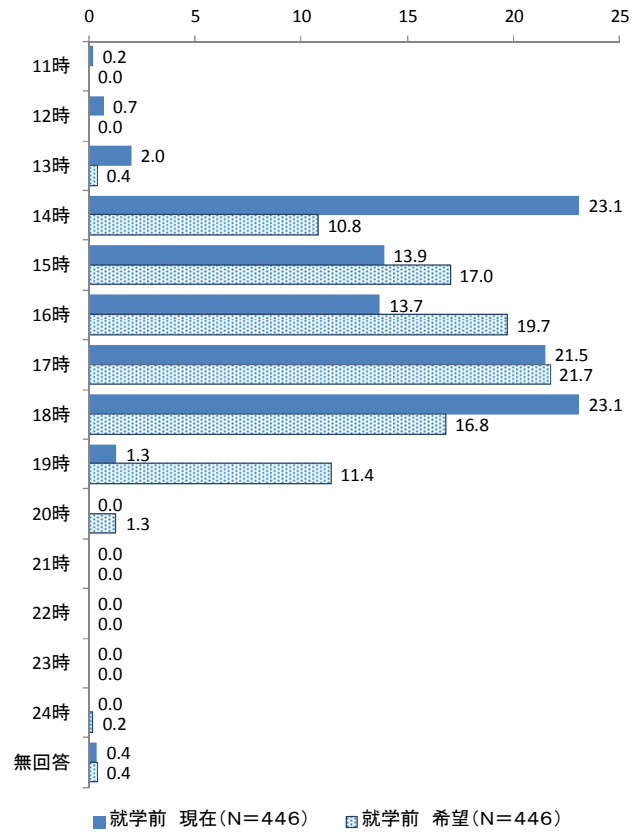
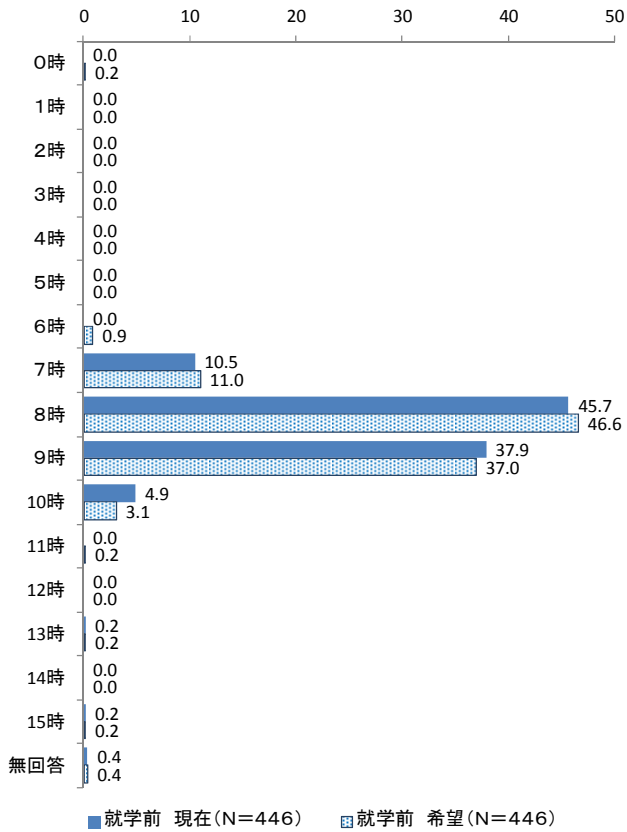


【利用開始時間】

【利用終了時間】

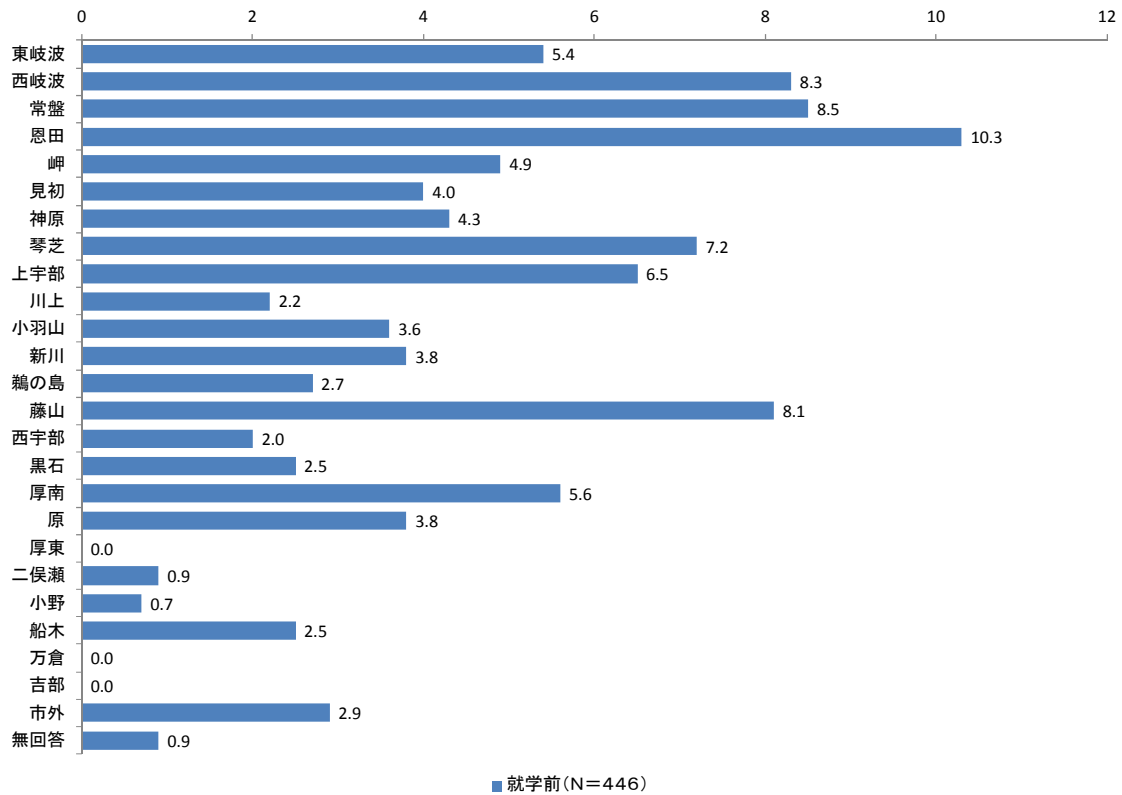
利用開始時間について、現状・希望ともに「7時」「8時」「9時」と回答した割合が高くなっている。

利用終了時間について、現状では「14時」「18時」と回答した割合が高く、希望では「16時」「17時」と回答した割合が高くなっている。



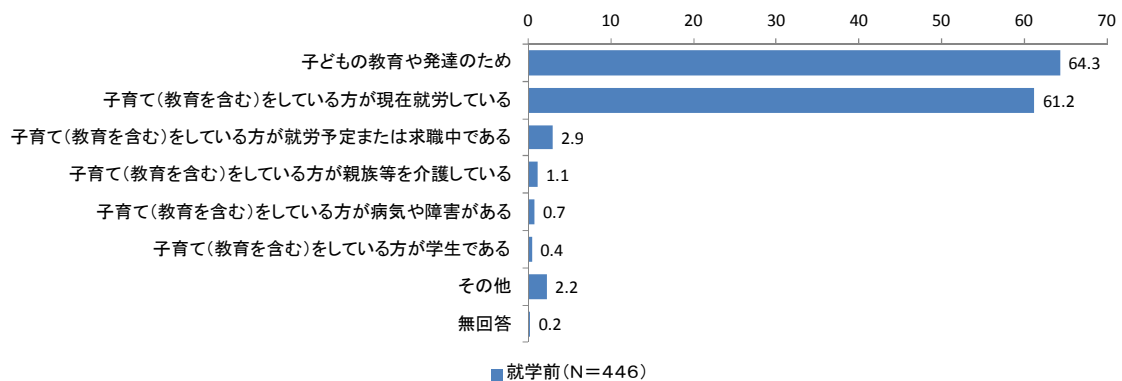
【現在、利用している幼稚園や保育園などの教育・保育事業の実施場所】

現在、利用している幼稚園や保育園などの教育・保育事業の実施場所について、「恩田」と回答した割合が10.3%と最も高く、次いで「常盤」(8.5%)、「西岐波」(8.3%)の順になっている。



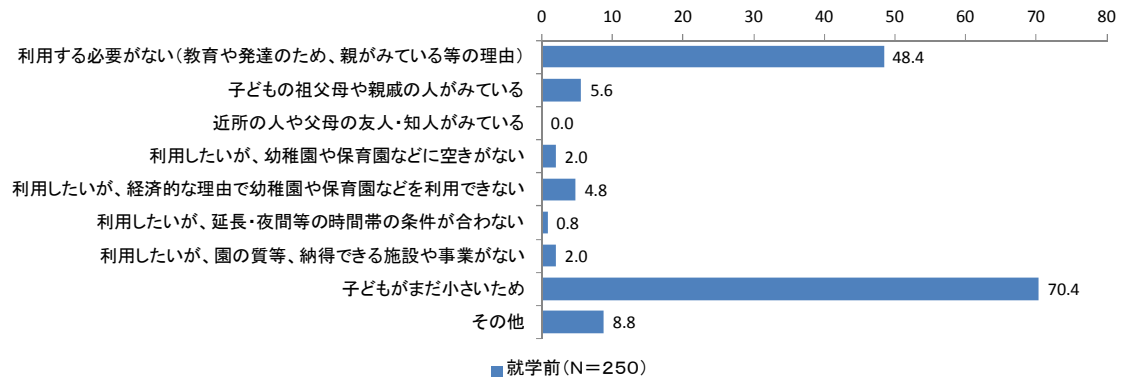
【平日、利用している理由】

平日、利用している理由について、「子どもの教育や発達のため」「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」と回答した割合が6割以上と高くなっている。



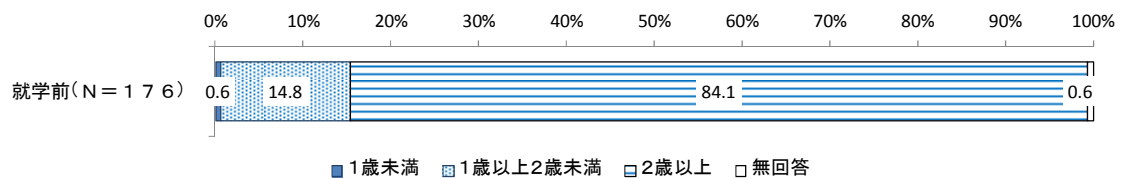
【教育・保育事業を利用していない理由】

教育・保育事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」と回答した割合が70.4%と最も高く、次いで「利用する必要がない（教育や発達のため、親がみている等の理由）」（48.4%）の順になっている。



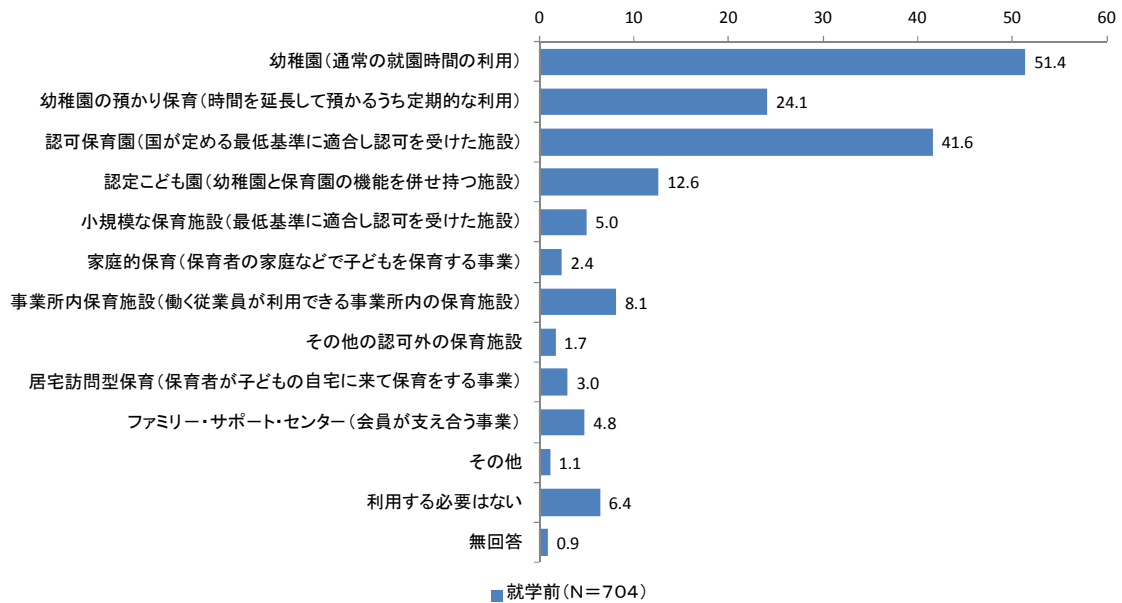
【子どもが何歳になったら利用したいか】

前問で「子どもがまだ小さいため」と回答した方が、子どもが何歳になったら利用したいかについて「2歳以上」と回答した割合が84.1%と高くなっている。



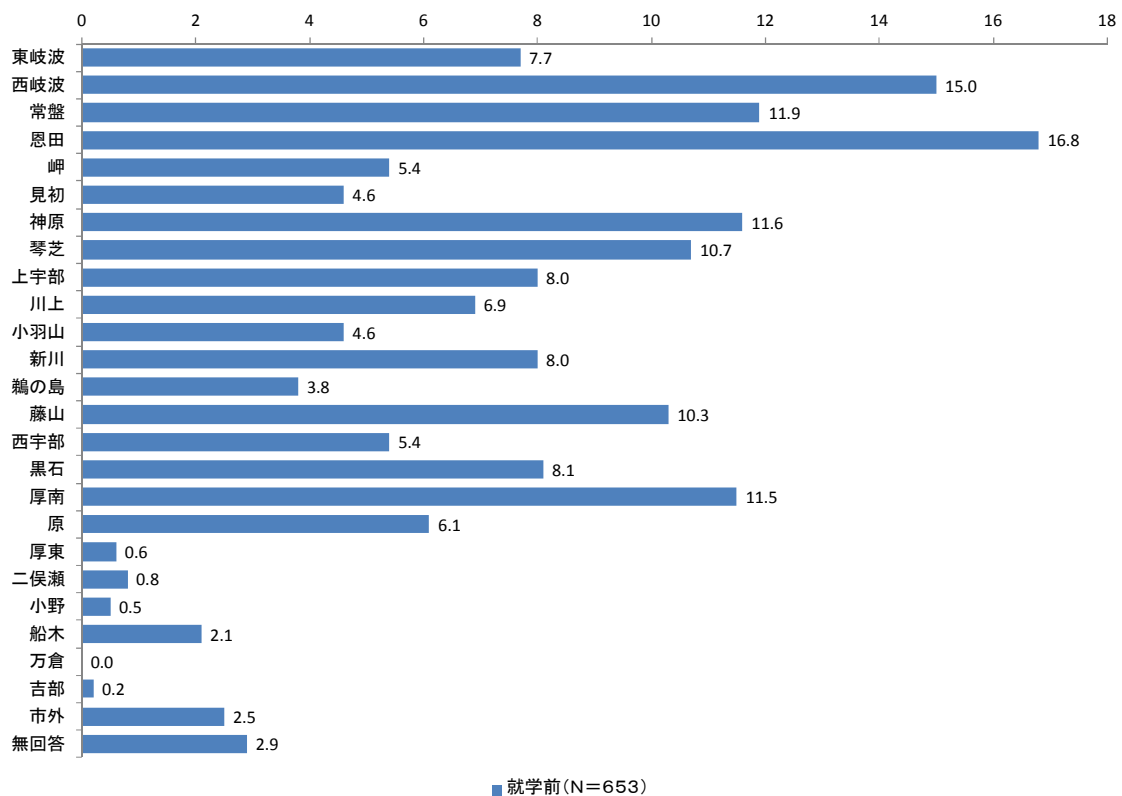
■平日、定期的に利用したい施設や事業

平日、定期的に利用したい施設や事業について、「幼稚園」と回答した割合が51.4%と最も高く、次いで「認可保育園」(41.6%)、「幼稚園の預かり保育」(24.1%)の順になっている。



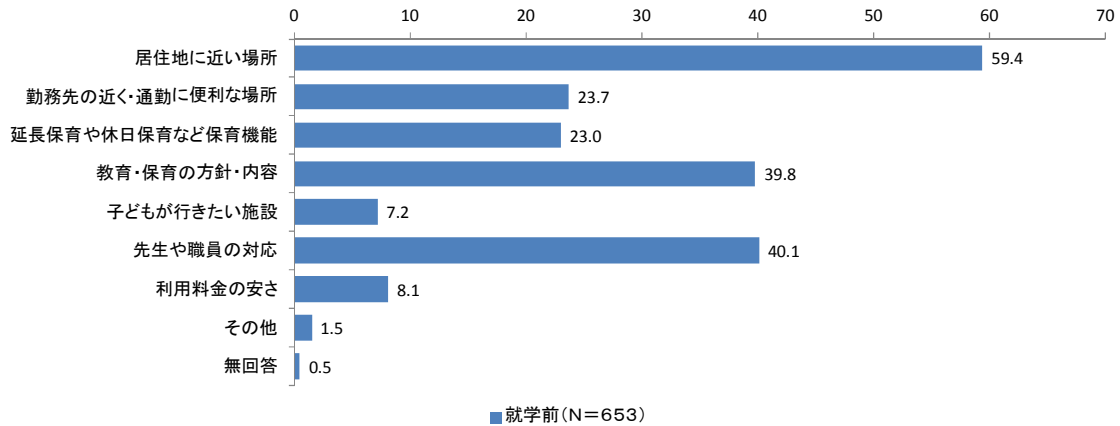
【利用したいと思う教育・保育事業の地域】

利用したいと思う教育・保育事業の実施場所について、「恩田」と回答した割合が16.8%と最も高く、次いで「西岐波」(15.0%)、「常盤」(11.9%)の順になっている。



【教育・保育事業を選ぶときに特に重視すること】

教育・保育事業を選ぶときに特に重視することについて、「居住地に近い場所」と回答した割合が59.4%と最も高く、次いで「先生や職員の対応」(40.1%)、「教育・保育の方針・内容」(39.8%)の順になっている。

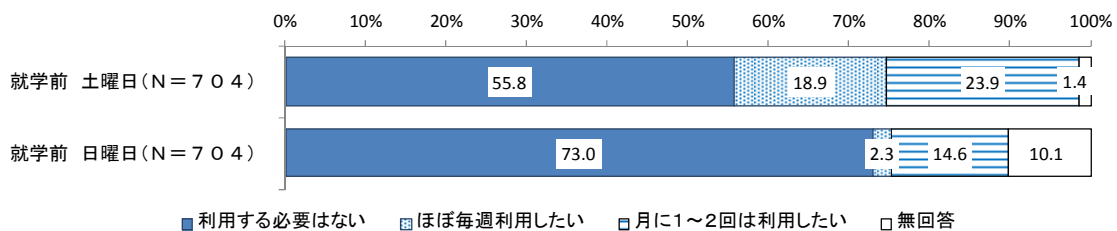


**幼稚園や保育園などの
土曜・休日や長期休暇中の定期的な利用希望についてうかがいます。**

■土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望

土曜日と日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望について、土曜日では「利用する必要はない」と回答した割合が55.8%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」(23.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(18.9%)の順になっている。

日曜日では「利用する必要はない」と回答した割合が73.0%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」(14.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.3%)の順になっている。

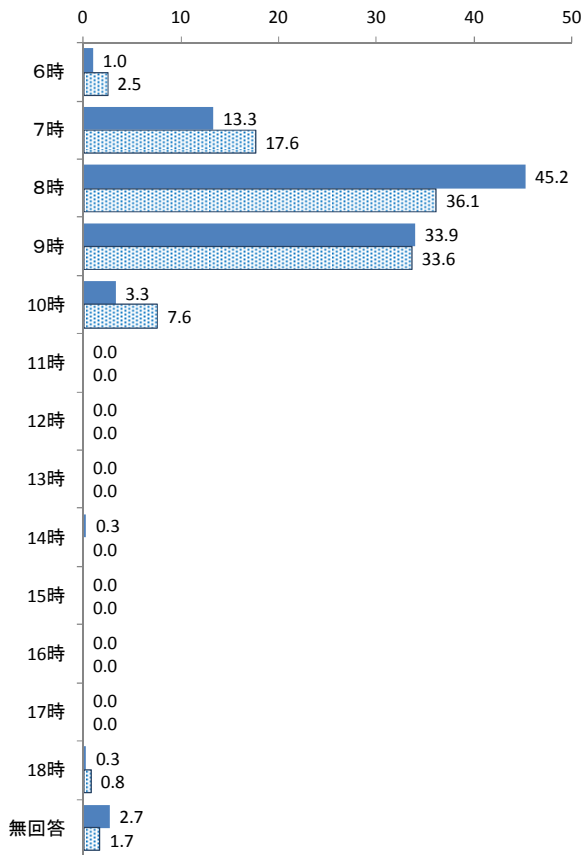


【希望開始時間】

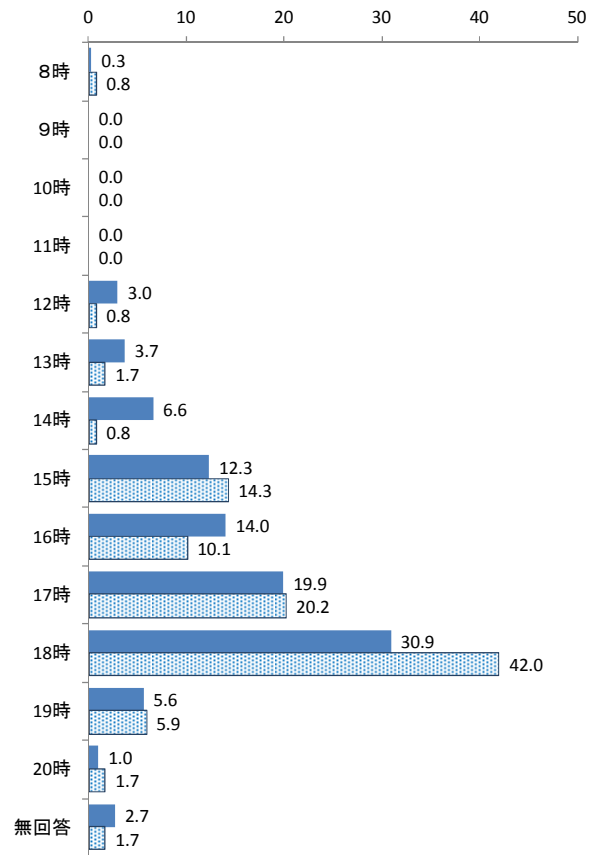
【希望終了時間】

希望利用開始時間について、土曜日・日曜日ともに「8時」「9時」と回答した割合が高くなっている。

希望利用終了時間について、土曜日・日曜日ともに「17時」「18時」と回答した割合が高くなっている。



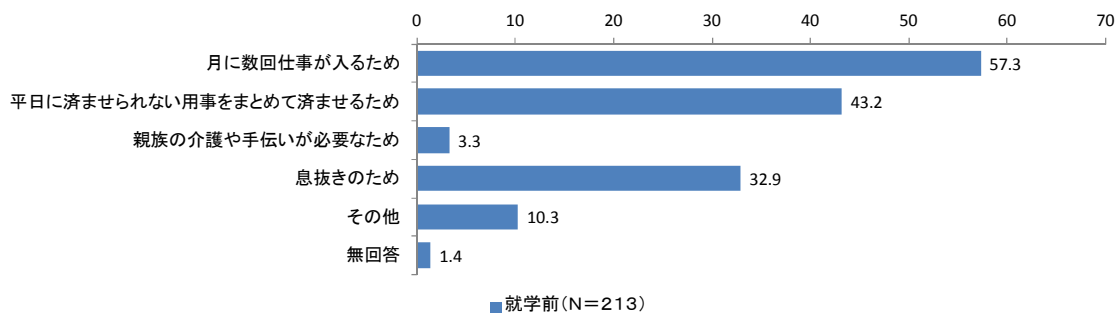
■ 就学前 土曜日 (N=301) ▨ 就学前 日曜日 (N=119)



■ 就学前 土曜日 (N=301) ▨ 就学前 日曜日 (N=119)

【毎週ではなく、たまに（月に1~2回）利用したい理由】

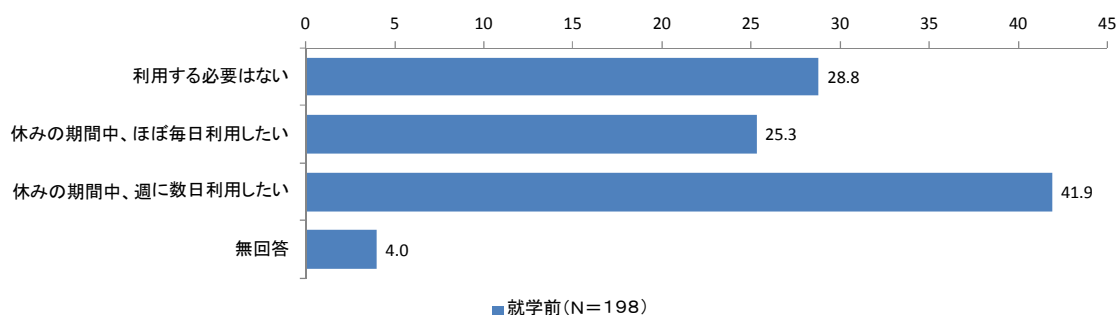
毎週ではなく、たまに（月に1~2回）利用したい理由について、「月に数回仕事が入るため」と回答した割合が57.3%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（43.2%）、「息抜きのため」（32.9%）の順になっている。



■ 就学前 (N=213)

■長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）

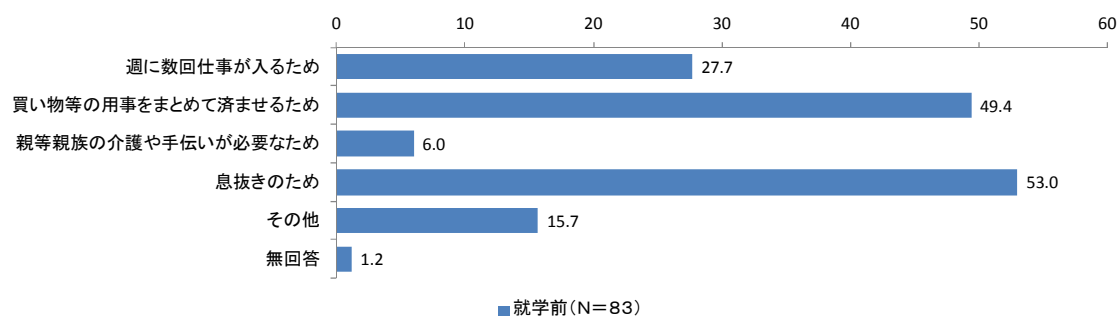
幼稚園利用者の長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した割合が41.9%と最も高く、次いで「利用する必要はない」（28.8%）、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（25.3%）の順になっている。



■ 就学前 (N=198)

【毎日ではなく、たまに（週に数日）利用したい理由】

毎日ではなく、たまに（週に数日）利用したい理由について、「息抜きのため」と回答した割合が53.0%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」（49.4%）、「週に数回仕事が入るため」（27.7%）の順になっている。

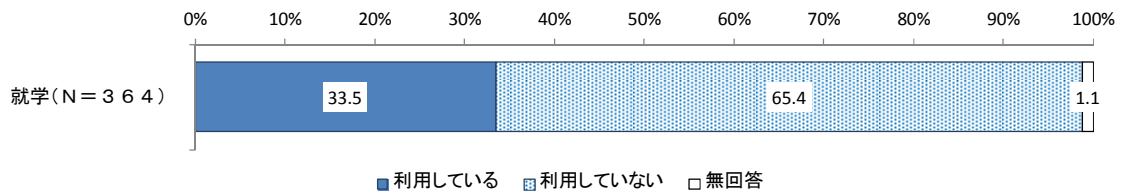


■ 就学前 (N=83)

学童保育クラブの現在の利用状況をうかがいます。

■現在の学童保育クラブ利用状況

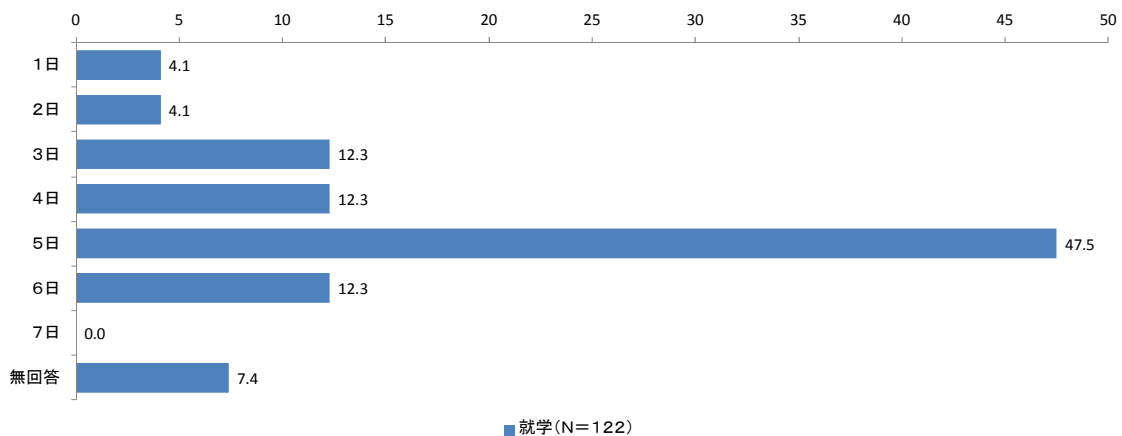
学童保育クラブの利用状況について、「利用している」と回答した割合が33.5%、「利用していない」と回答した割合が65.4%となっている。



【利用の状況】

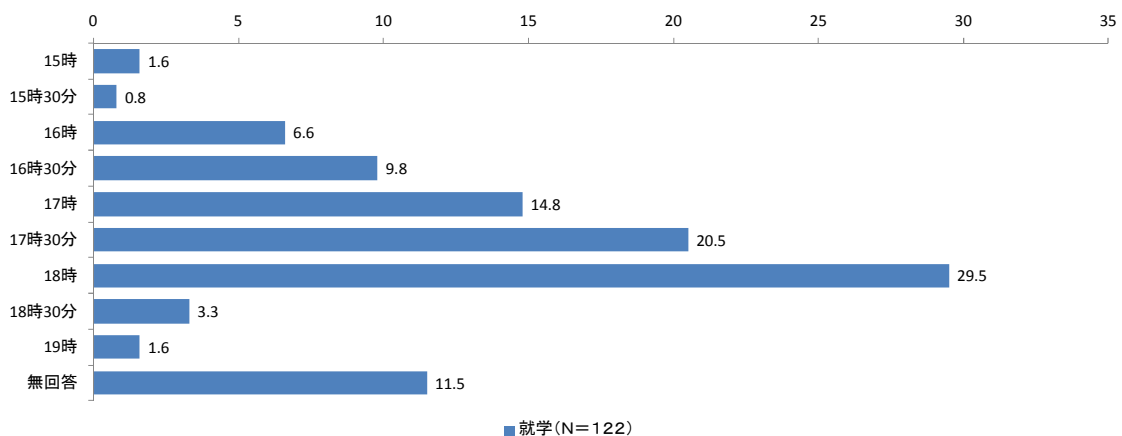
○利用日数

利用日数について、「5日」と回答した割合が47.5%と最も高くなっている。



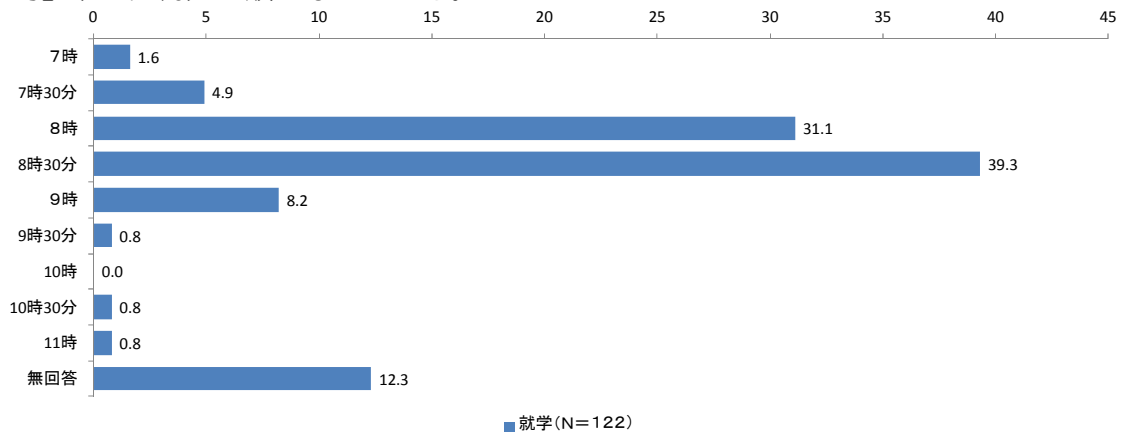
○平日の利用終了時間

平日の利用終了時間について、「18時」と回答した割合が29.5%と最も高く、次いで「17時30分」(20.5%)、「17時」(14.8%)の順になっている。



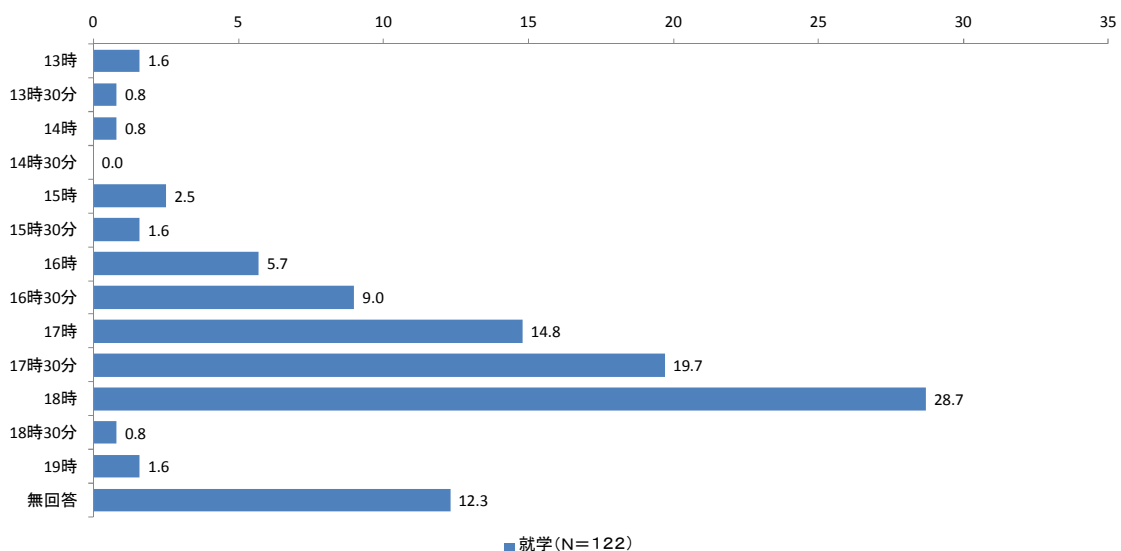
○長期休暇中の利用開始時間

長期休暇中の利用開始時間について、「8時30分」と回答した割合が39.3%と最も高く、次いで「8時」(31.1%)の順になっている。



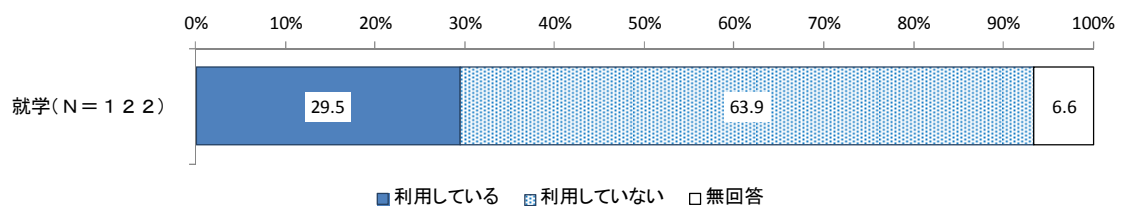
○長期休暇中の利用終了時間

長期休暇中の利用終了時間について、「18時」と回答した割合が28.7%と最も高く、次いで「17時30分」(19.7%)、「17時」(14.8%)の順になっている。



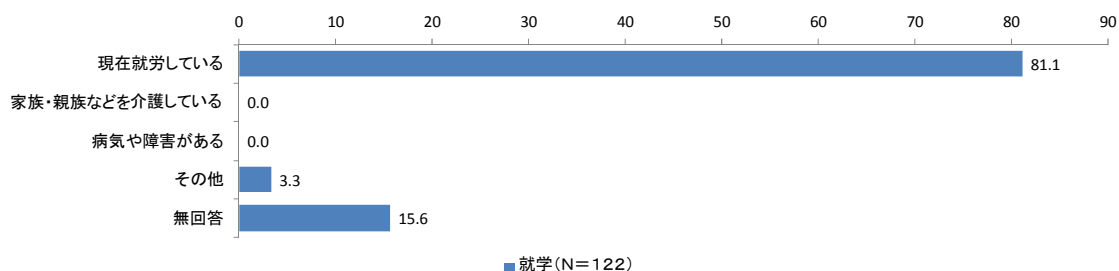
○土曜日の利用

土曜日の利用状況について、「利用している」と回答した割合が29.5%、「利用していない」と回答した割合が63.9%となっている。



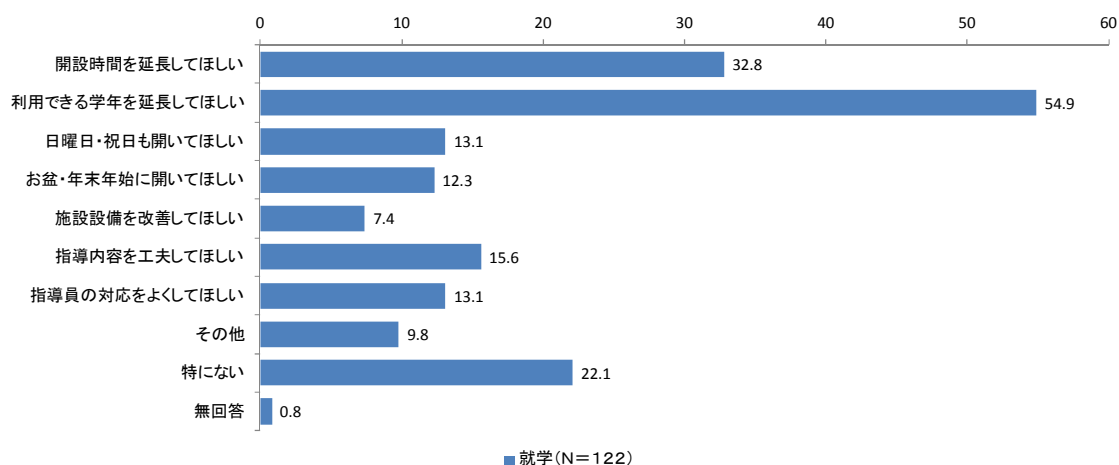
○利用している理由

利用している理由について、「現在就労している」と回答した割合が81.1%と最も高くなっている。



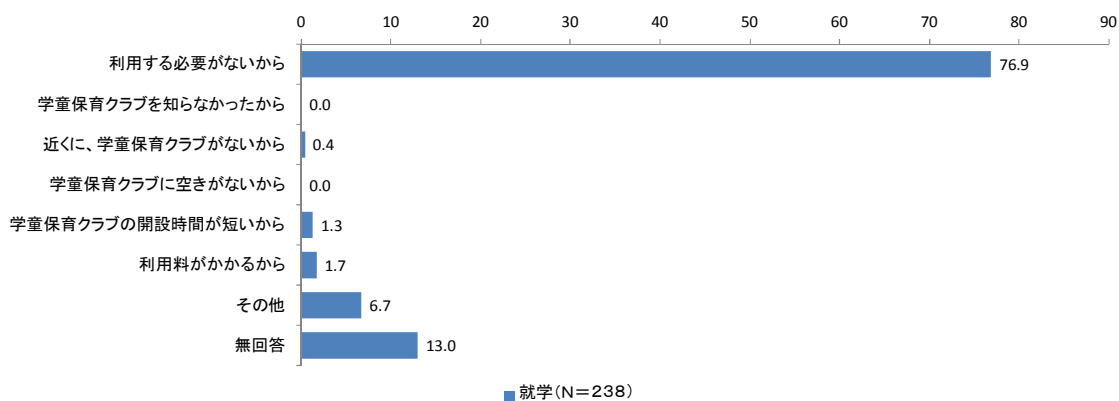
【現在通っている学童保育クラブに対する要望】

現在通っている学童保育クラブに対する要望について、「利用できる学年を延長してほしい」と回答した割合が54.9%と最も高く、次いで「開設時間を延長してほしい」(32.8%)、「特にない」(22.1%)の順になっている。



【学童保育クラブを利用していない理由】

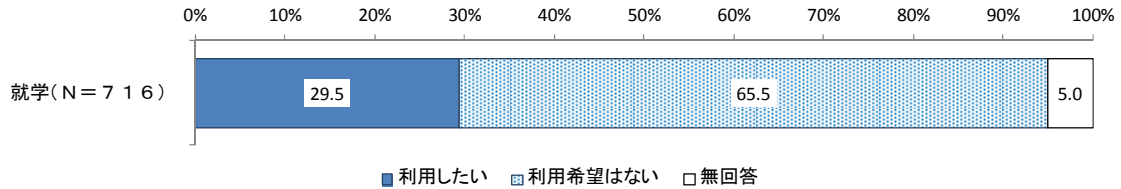
学童保育クラブを利用していない理由について、「利用する必要がないから」と回答した割合が76.9%と最も高くなっている。



今後の学童保育クラブの利用希望をうかがいます。

■今後の学童保育クラブの利用希望

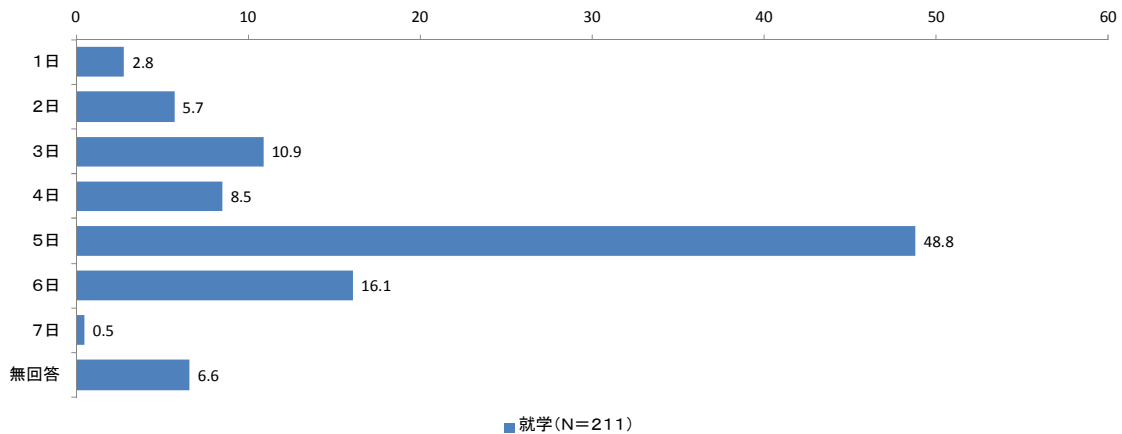
今後の学童保育クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 29.5%、「利用希望はない」と回答した割合が 65.5%となっている。



【利用希望の状況】

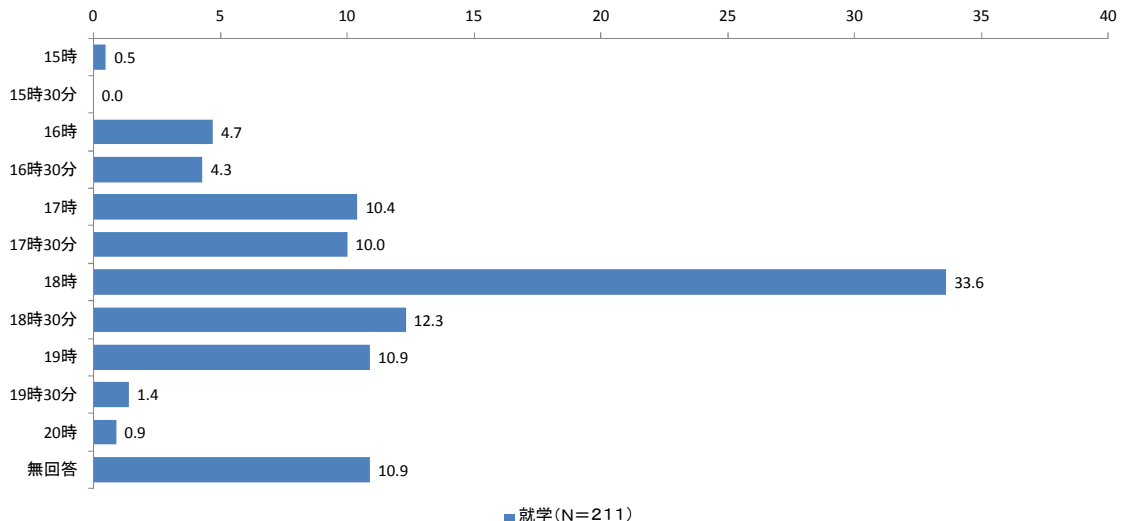
○利用希望日数

利用希望日数について、「5日」と回答した割合が 48.8%と最も高くなっている。



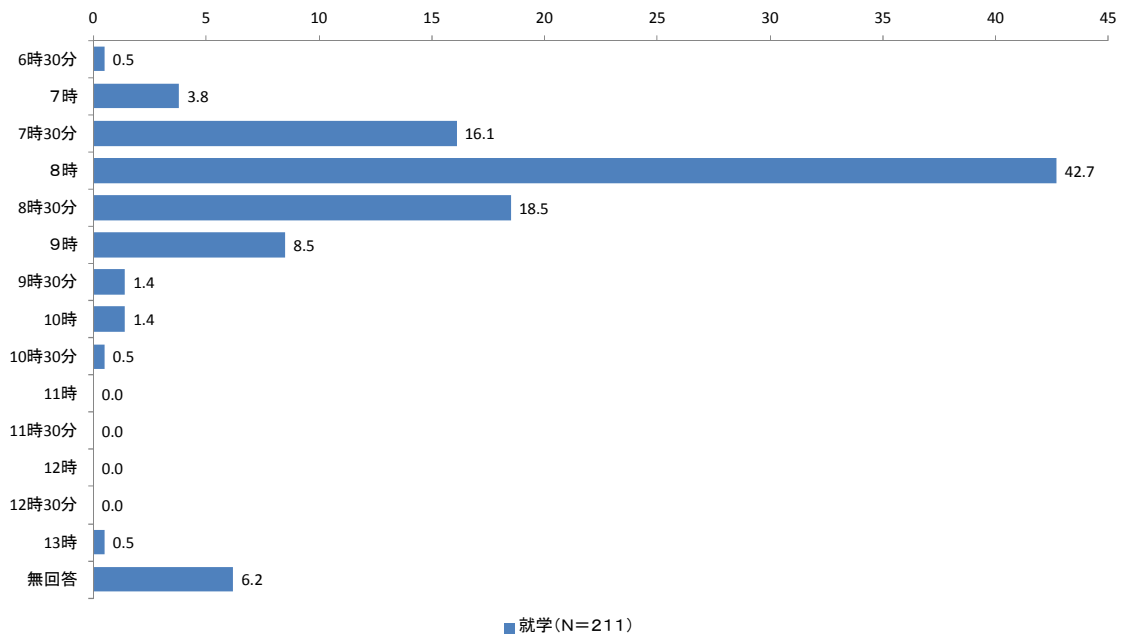
○平日の希望利用終了時間

平日の希望利用終了時間について、「18時」と回答した割合が 33.6%と最も高くなっている。



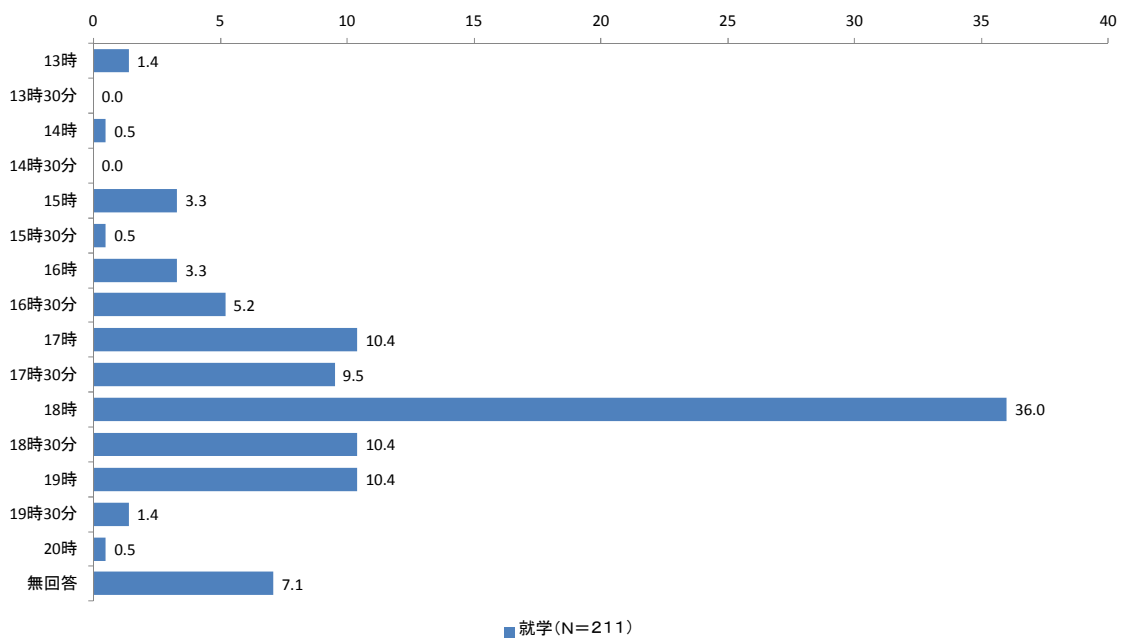
○長期休暇中の希望利用開始時間

長期休暇中の希望利用開始時間について、「8時」と回答した割合が42.7%と最も高く、次いで「8時30分」（18.5%）、「7時30分」（16.1%）の順になっている。



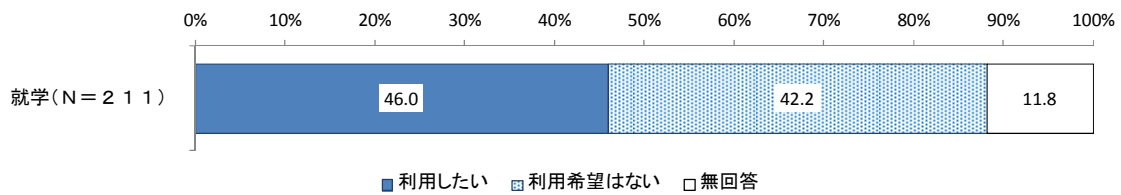
○長期休暇中の希望利用終了時間

長期休暇中の希望利用終了時間について、「18時」と回答した割合が36.0%と最も高くなっている。



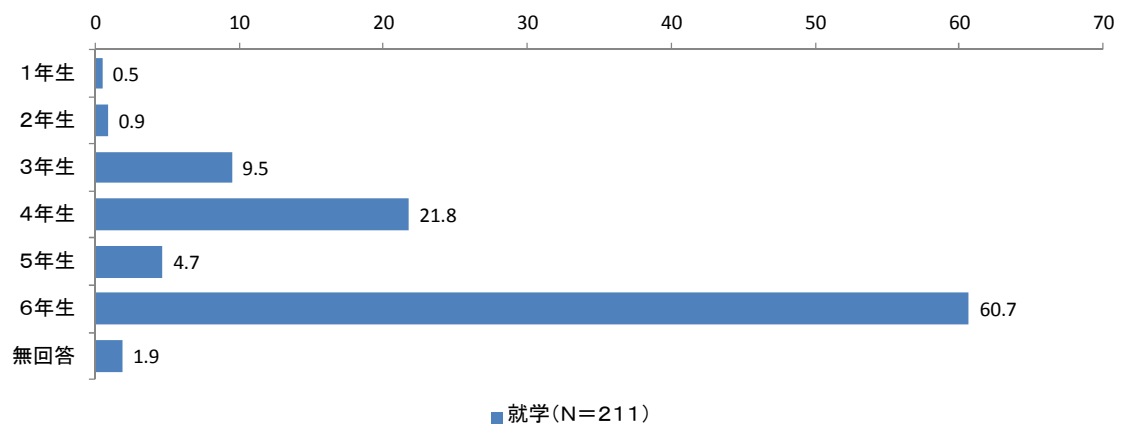
○土曜日の利用

土曜日の利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 46.0%、「利用希望はない」と回答した割合が 42.2%となっている。



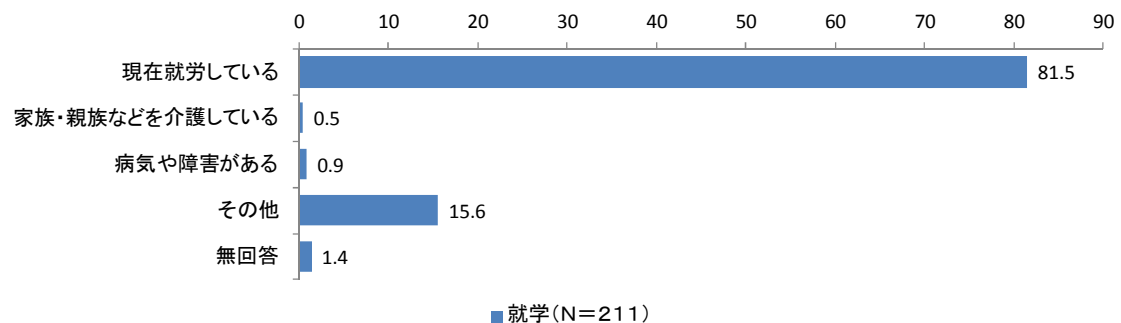
○利用したい学年

利用したい学年について、「6年生」と回答した割合が 60.7%と最も高く、次いで「4年生」(21.8%)の順になっている。



○利用したい理由

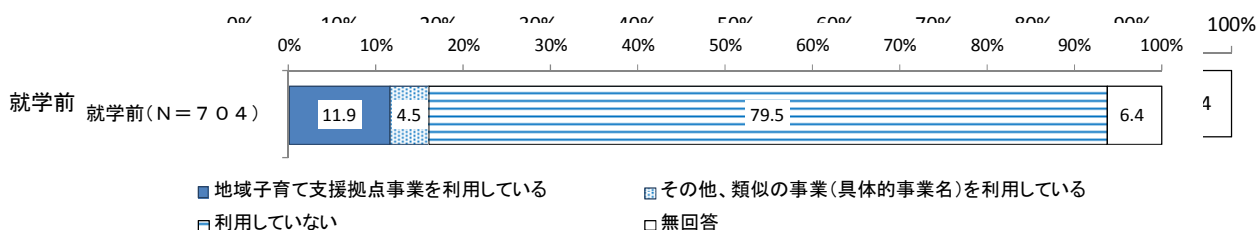
利用したい理由について、「現在就労している」と回答した割合が 81.5%と最も高くなっている。



あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

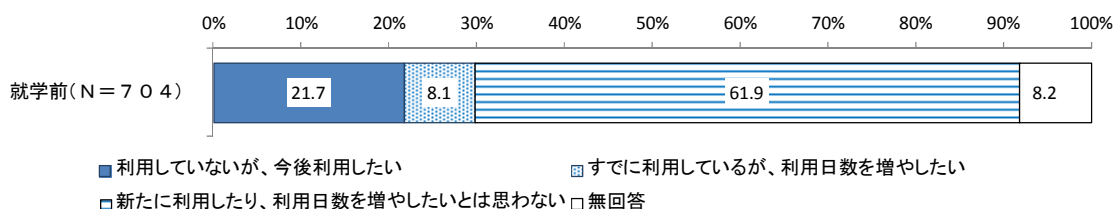
■現在の地域子育て支援拠点事業の利用

現在の地域子育て支援拠点事業の利用について、「利用していない」と回答した割合が79.5%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業を利用している」(11.9%)、「その他、類似の事業を利用している」(4.5%)の順になっている。



■地域子育て支援拠点事業の今後の利用

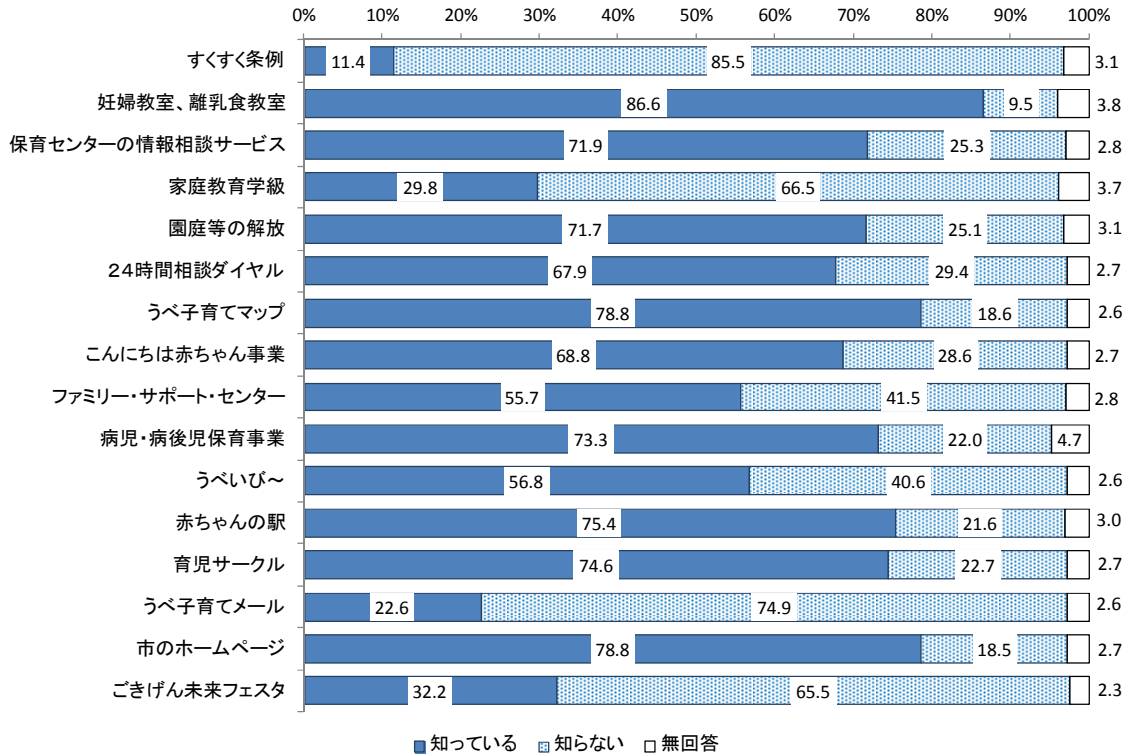
地域子育て支援拠点事業の今後の利用について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答した割合が61.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(21.7%)、「すでに利用しているが、利用日数を増やしたい」(8.1%)の順になっている。



■各種サービス状況

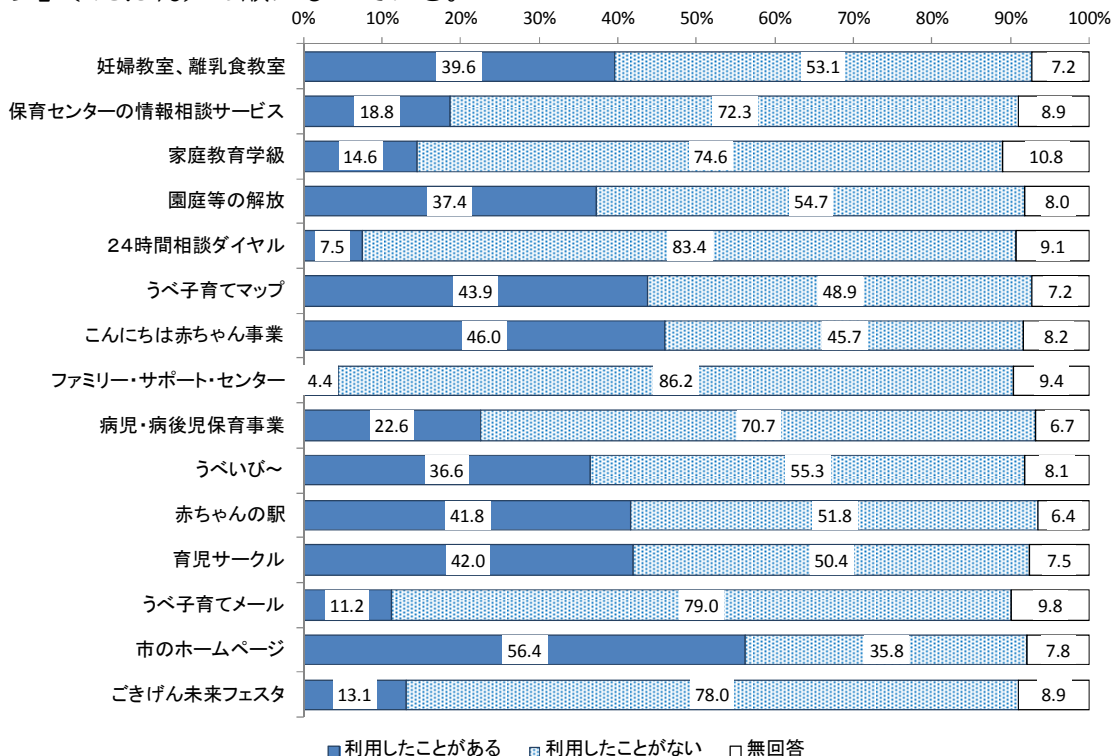
【認知度 就学前】

各種サービスの就学前の認知度について、「知っている」と回答した割合は、「妊婦教室、離乳食教室」が86.6%と最も高く、次いで「うべ子育てマップ」「市のホームページ」（ともに78.8%）、「赤ちゃんの駅」（75.4%）の順になっている。



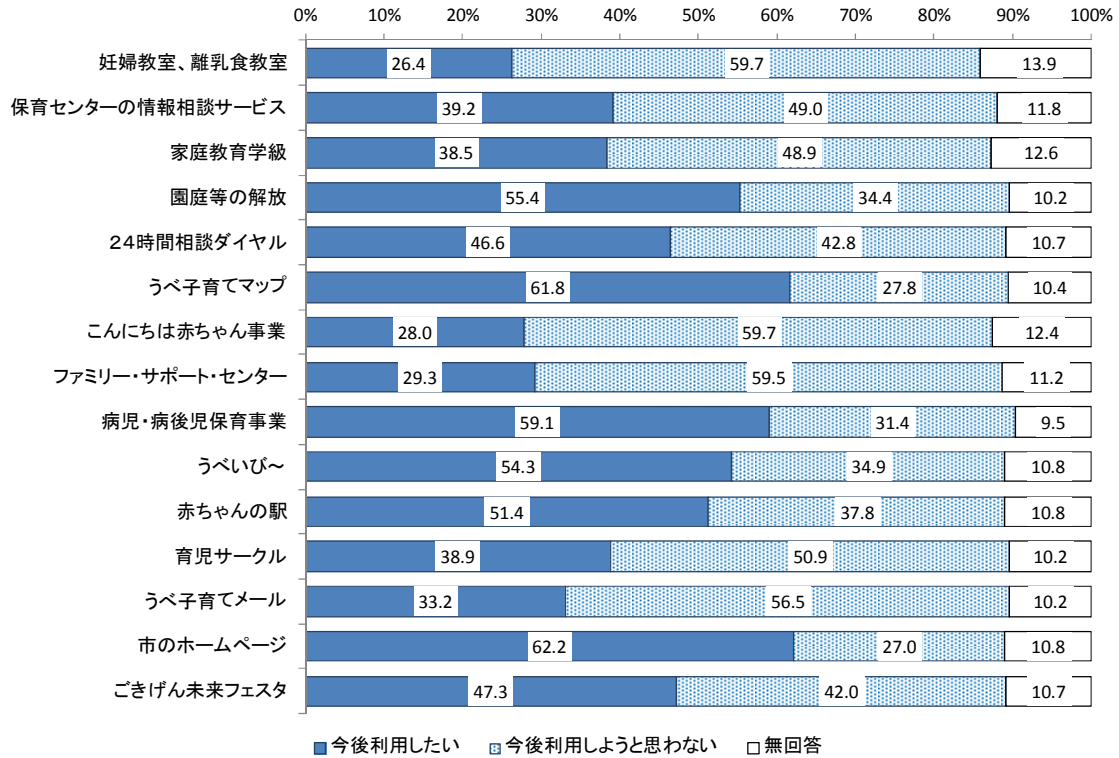
【過去の利用 就学前】

各種サービスの就学前の過去の利用について、「利用したことがある」と回答した割合は、「市のホームページ」が56.4%と最も高く、次いで「こんにちは赤ちゃん事業」（46.0%）、「うべ子育てマップ」（43.9%）の順になっている。



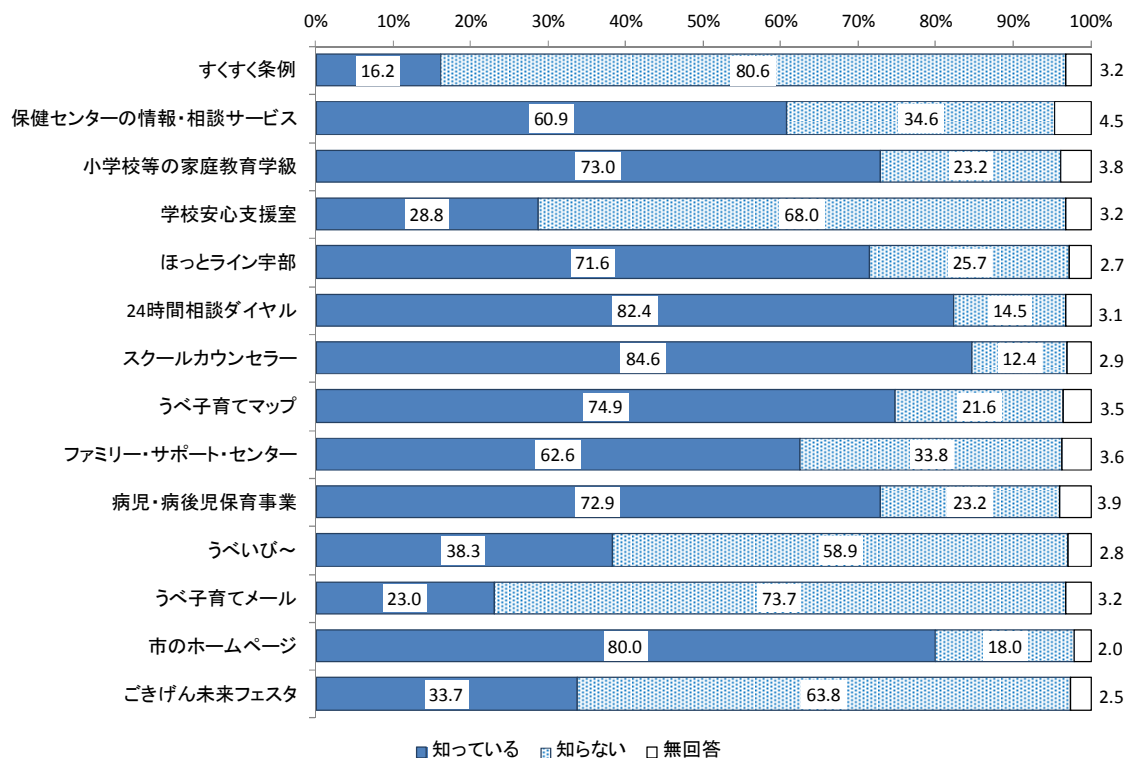
【今後の利用希望 就学前】

各種サービスの就学前の今後の利用希望について、「今後利用したい」と回答した割合は、「市のホームページ」が62.2%と最も高く、次いで「うべ子育てマップ」(61.8%)、「病児・病後児保育事業」(59.1%)の順になっている。



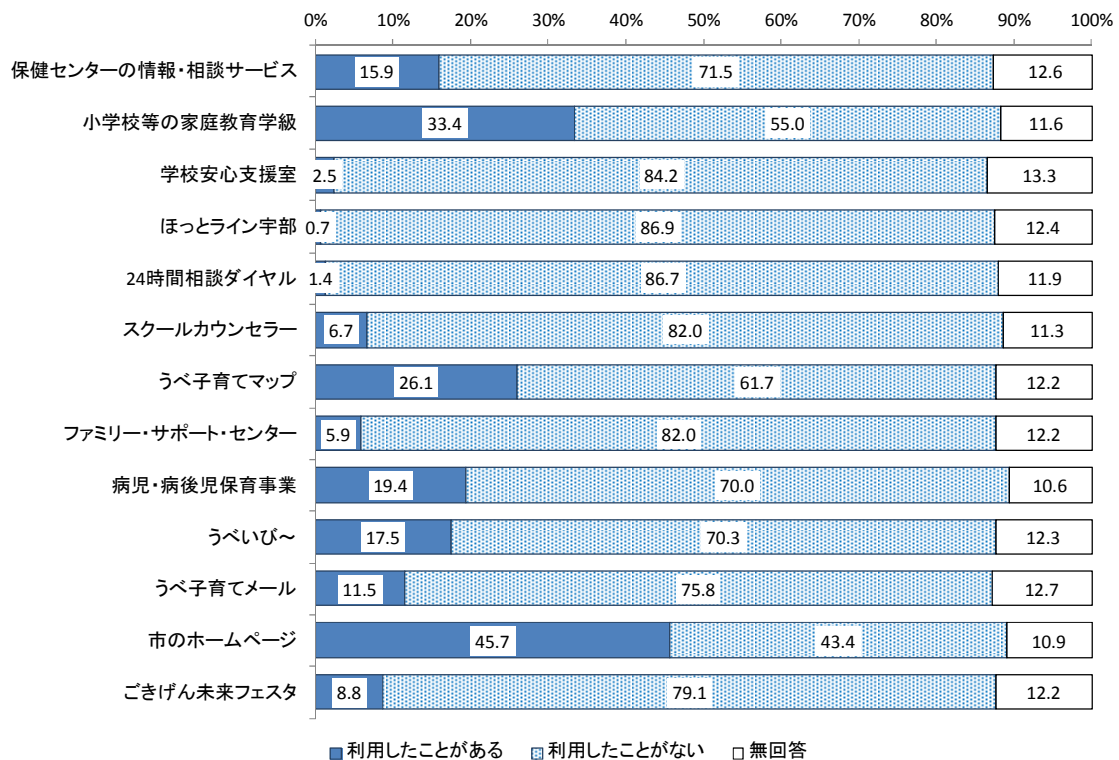
【認知度 就学】

各種サービスの就学の認知度について、「知っている」と回答した割合は、「スクールカウンセラー」が84.6%と最も高く、次いで「24時間相談ダイヤル」(82.4%)、「市のホームページ」(80.0%)の順になっている。



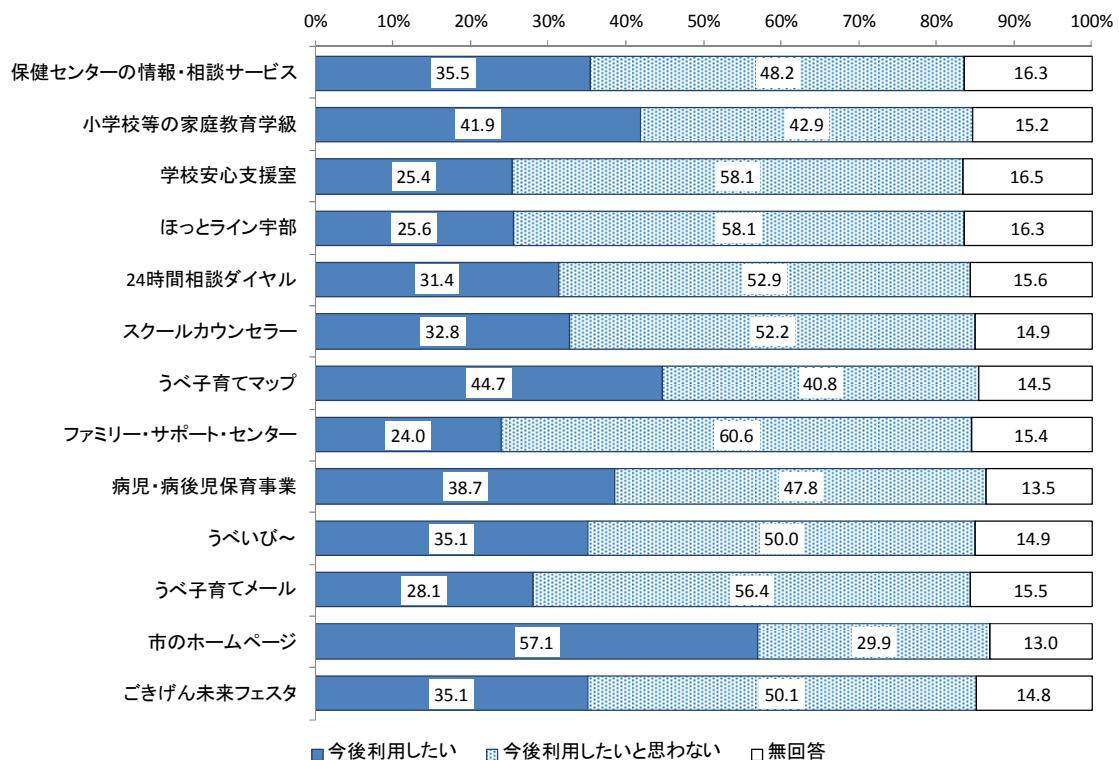
【過去の利用 就学】

各種サービスの就学の過去の利用について、「利用したことがある」と回答した割合は、「市のホームページ」が45.7%と最も高く、次いで「小学校等の家庭教育学級」(33.4%)、「うべ子育てマップ」(26.1%)の順になっている。



【今後の利用希望 就学】

各種サービスの就学の今後の利用希望について、「今後利用したい」と回答した割合は、「市のホームページ」が57.1%と最も高く、次いで「うべ子育てマップ」(44.7%)、「小学校等の家庭教育学級」(41.9%)の順になっている。

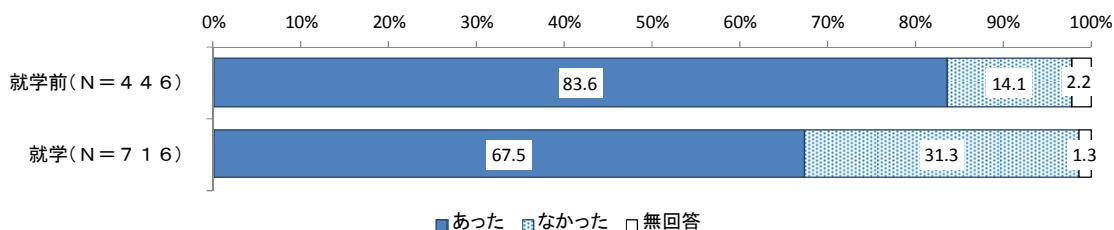


**あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。
(就学前は平日に幼稚園や保育園などの教育・保育事業を利用する方のみ)**

■この1年間に、病気やケガで幼稚園や保育園・学校などを利用できなかったこと

この1年間に、病気やケガで幼稚園や保育園・学校などを利用できなかったことについて、就学前では、「あった」と回答した割合が83.6%、「なかった」と回答した割合が14.1%となっている。

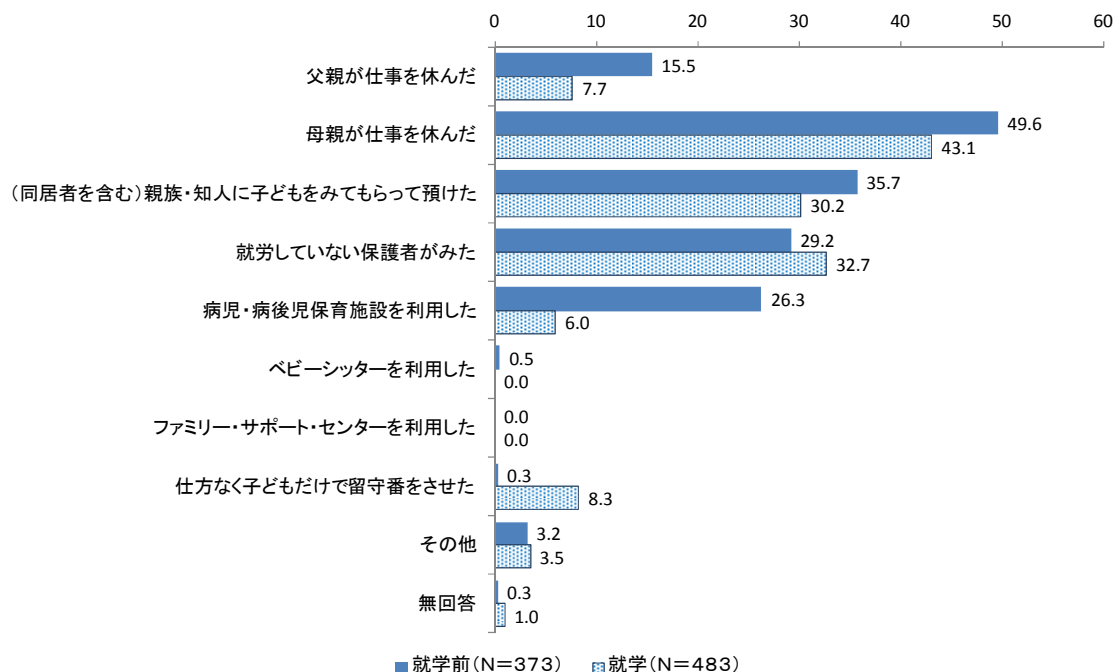
就学では、「あった」と回答した割合が67.5%、「なかった」と回答した割合が31.3%となっている。



【病気やケガで幼稚園や保育園・学校などを利用できなかったときの対応】

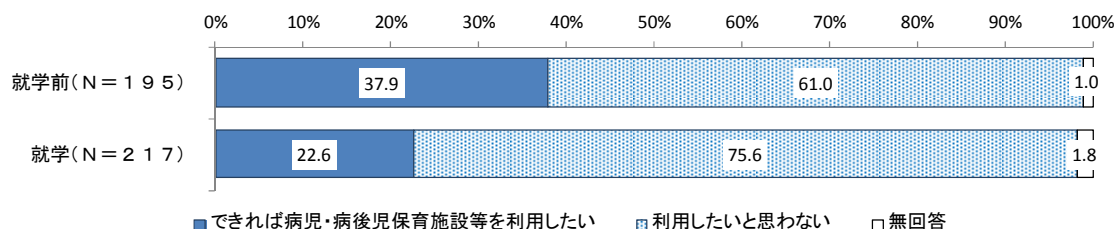
病気やケガで幼稚園や保育園・学校などを利用できなかったときの対応について、就学前では、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が49.6%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらって預けた」(35.7%)、「就労していない保護者がみた」(29.2%)の順になっている。

就学では、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が43.1%と最も高く、次いで「就労していない保護者がみた」(32.7%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらって預けた」(30.2%)の順になっている。



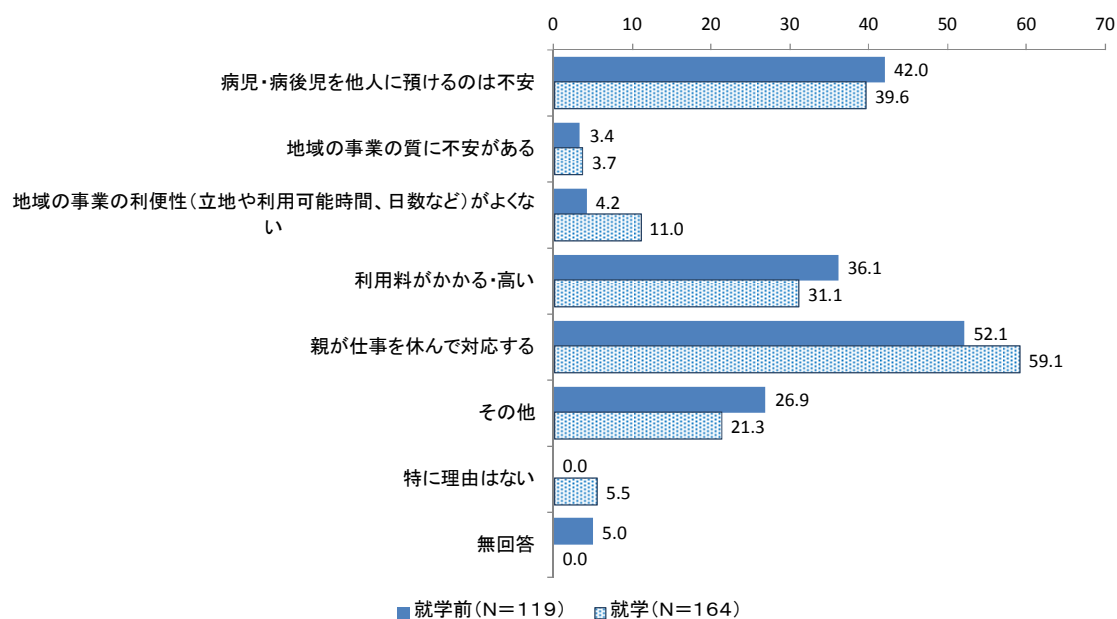
【父親・母親が仕事を休んだ際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思ったか】

父親・母親が仕事を休んだ際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思ったかについて、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した割合は、就学前では37.9%、就学では22.6%となっている。



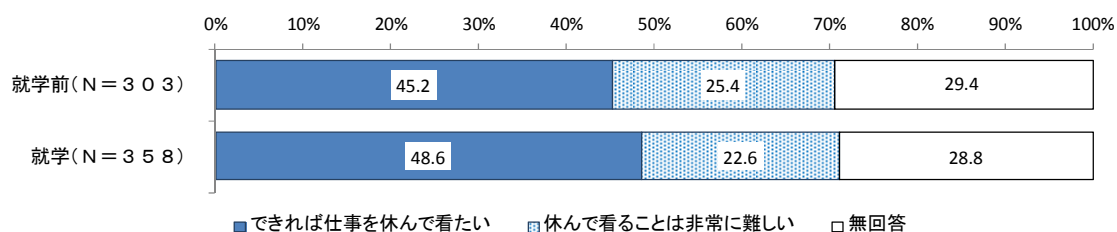
【病児・病後児保育施設等を利用したくないと思う理由】

病児・病後児保育施設等を利用したくないと思う理由について、就学前・就学ともに「親が仕事を休んで対応する」と回答した割合が最も高く、次いで「病児・病後児を他人に預けるのは不安」「利用料がかかる・高い」の順になっている。



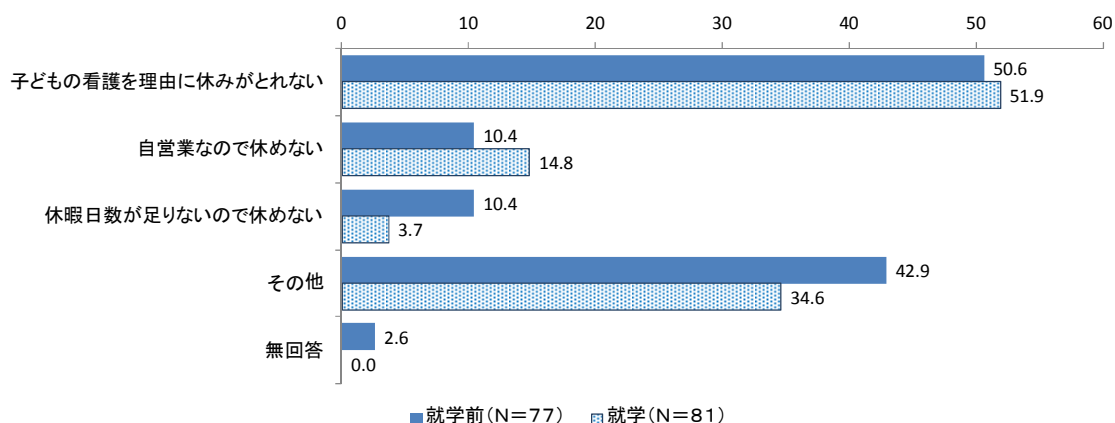
【「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか】

病気やケガで幼稚園や保育園・学校などを利用できなかったときの対応において、両親が仕事を休んで対応した以外の方が、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについて、就学前・就学ともに、「できれば仕事を休んで看たい」と回答した割合が4割以上となっている。



【休んで見ることは非常に難しい理由】

前問で「休んで見ることは非常に難しい」と回答した人が、休んで見ることは非常に難しい理由について、就学前・就学ともに、「子どもの看護を理由に休みが取れない」と回答した割合が5割以上と最も高くなっている。

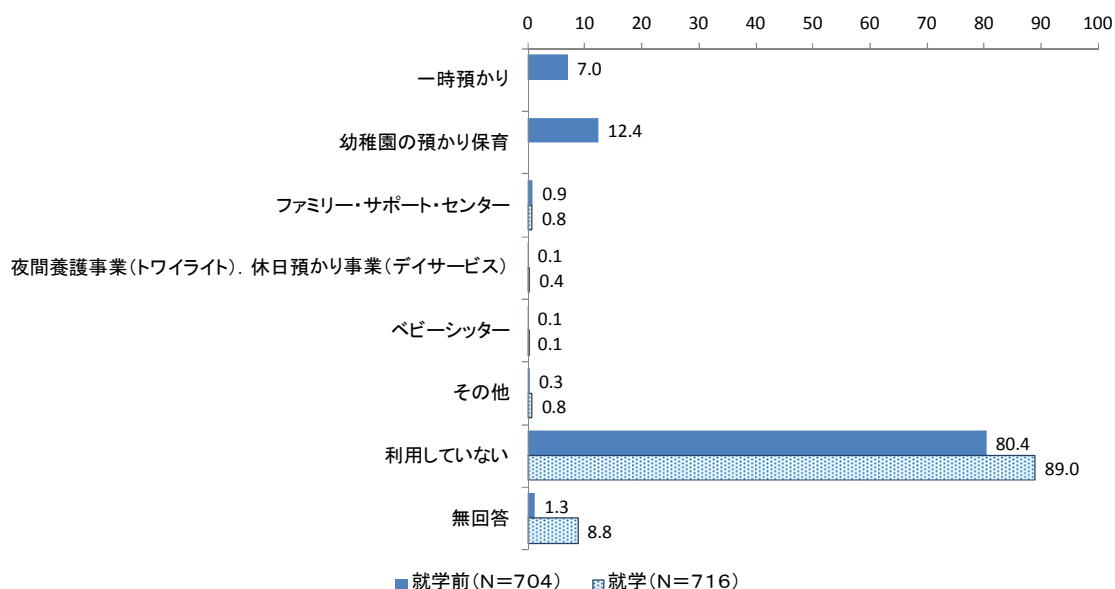


あて名のお子さんの不規則の保育サービスの利用についてうかがいます。

【この1年間に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用したサービスの有無】

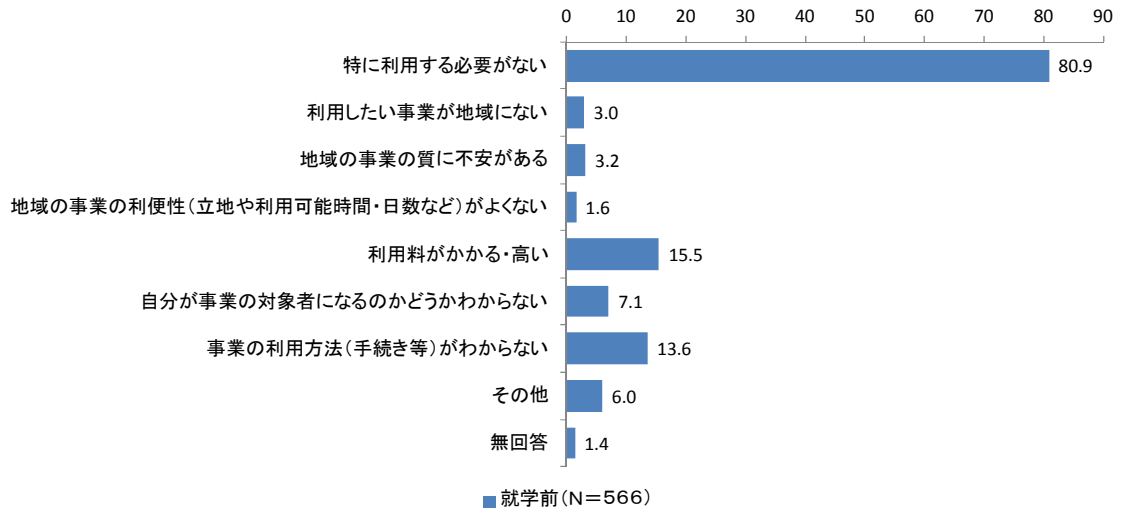
この1年間に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用したサービスについて、就学前・就学とも「利用していない」と回答した割合が8割以上と最も高くなっている。

就学前では、「利用していない」に次いで、「幼稚園の預かり保育」(12.4%)、「一時預かり」(7.0%)の順になっている。



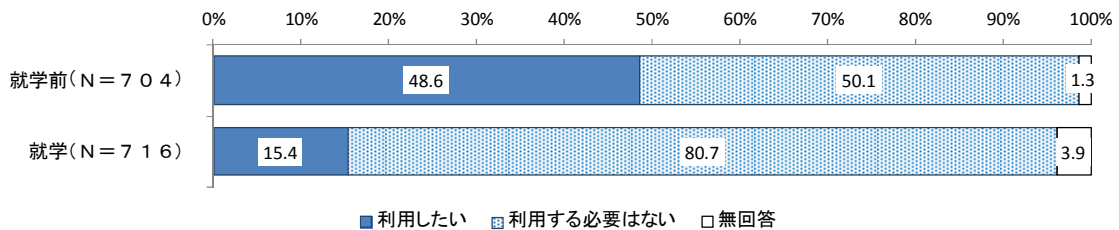
【現在利用していない理由】

この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的でサービスを利用していない理由について、就学前では「特に利用する必要がない」と回答した割合が80.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(15.5%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(13.6%)の順になっている。



■今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいか

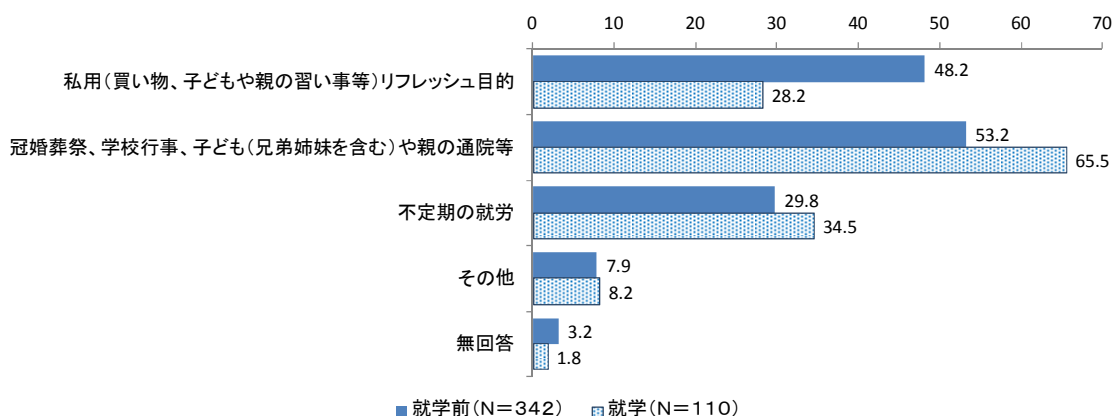
今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいかについて、「利用したい」と回答した割合は、就学前では48.6%、就学では15.4%となっている。



【利用目的】

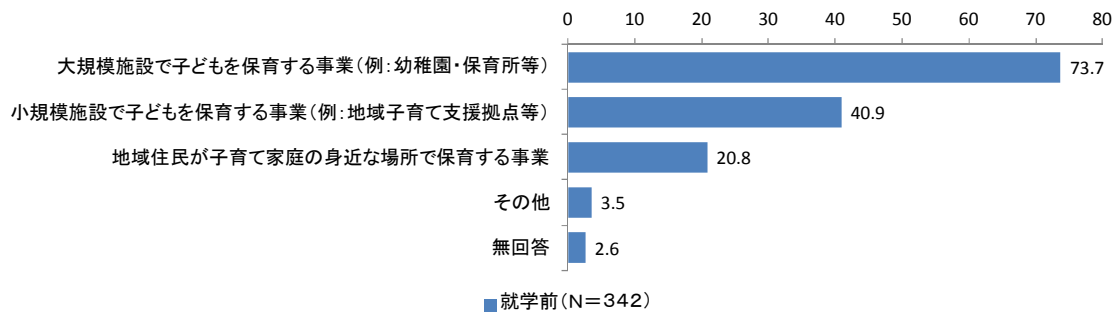
今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業の利用目的について、就学前では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」と回答した割合が53.2%と最も高く、次いで「私用(買い物、子どもや親の習い事等)リフレッシュ目的」(48.2%)の順になっている。

就学では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」と回答した割合が65.5%と最も高く、次いで「不定期の就労」(34.5%)の順になっている。



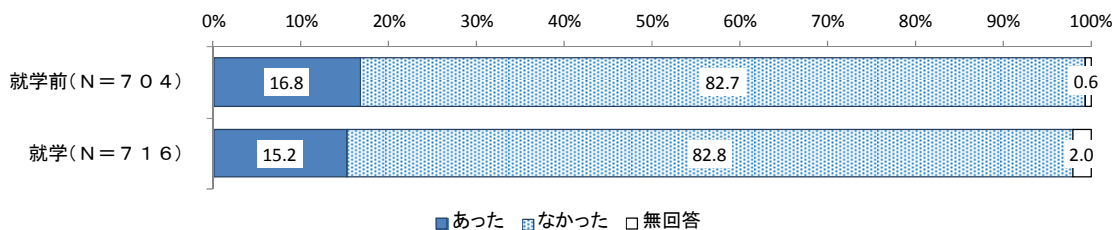
【今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的でお子さんを預ける場合、望ましい事業形態】

今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的でお子さんを預ける場合、望ましい事業形態について、就学前では、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」と回答した割合が73.7%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）」（40.9%）、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」（20.8%）の順になっている。



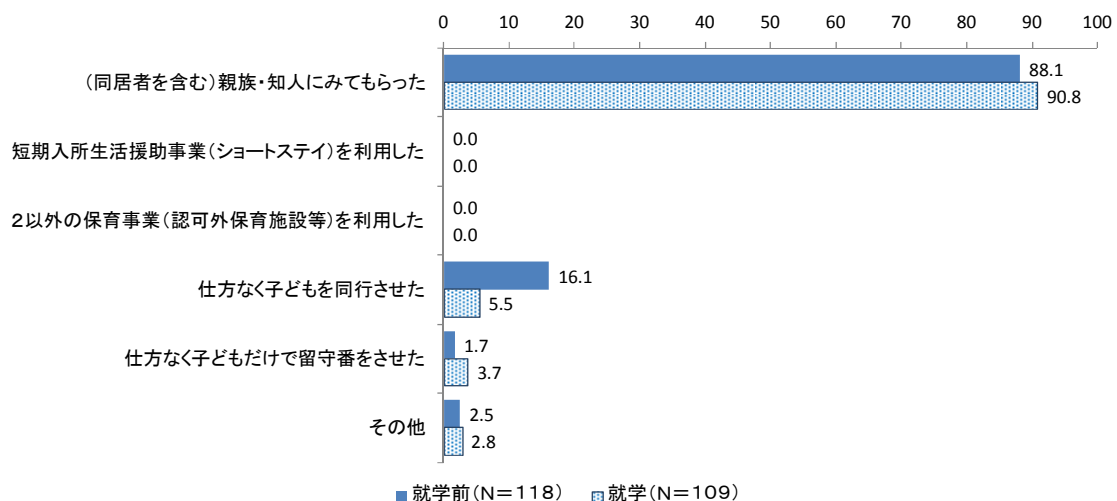
■この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことの有無

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことについて、「あった」と回答した割合は、就学前では16.8%、就学では15.2%となっている。



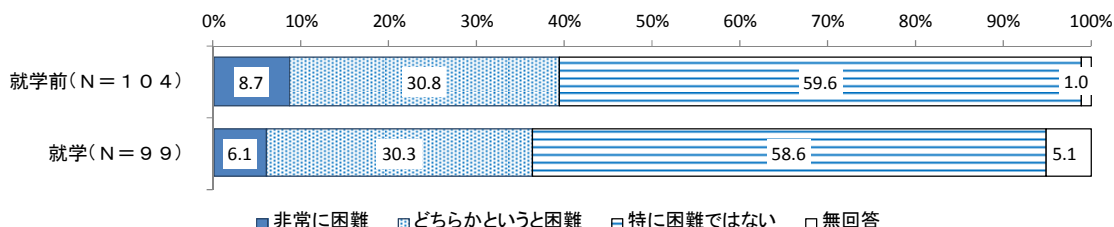
【泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったときの対応】

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったときの対応について、就学前・就学ともに「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答した割合が9割程度と最も高くなっている。



【親族や知人にみてもらう困難度】

泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったときに親族や知人にみてもらう困難度について、就学前・就学ともに「特に困難ではない」と回答した割合が6割程度と最も高くなっている。

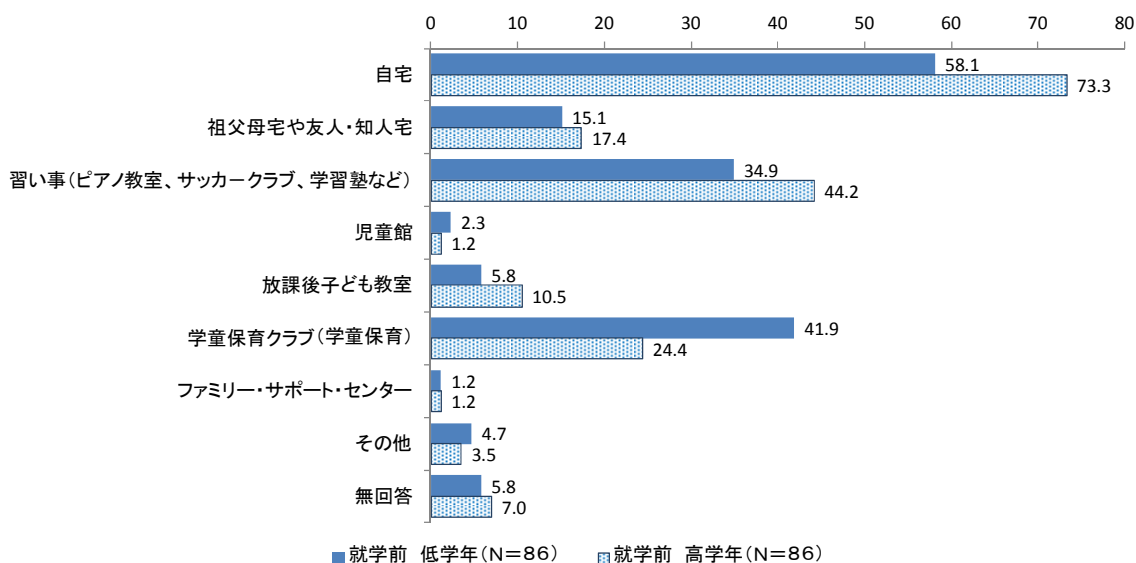


**あて名のお子さんが5歳以上である方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。**

■放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいか（就学前5歳以上）

放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、低学年での過ごし方については、「自宅」と回答した割合が58.1%と最も高く、次いで「学童保育クラブ（学童保育）」（41.9%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（34.9%）の順になっている。

高学年での過ごし方については、「自宅」と回答した割合が73.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（44.2%）、「学童保育クラブ（学童保育）」（24.4%）の順になっている。

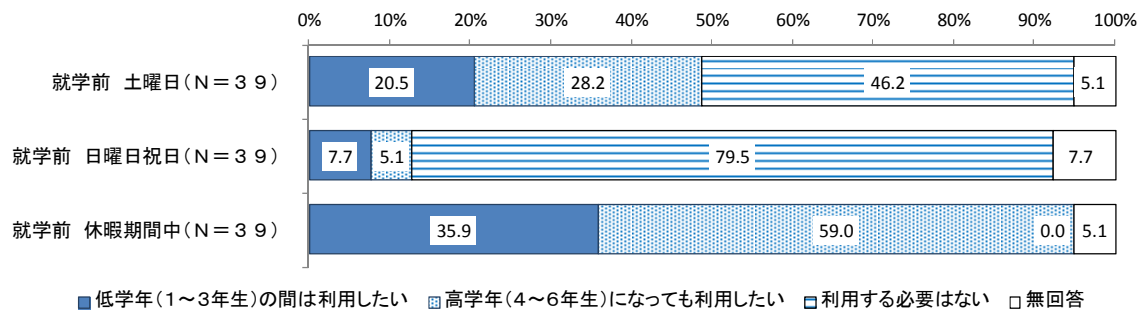


■学童保育クラブの利用希望（土曜日と日曜日・祝日、休暇期間中）

学童保育クラブの利用希望について、土曜日では、「利用する必要はない」と回答した割合が46.2%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（28.2%）、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（20.5%）の順になっている。

日曜日祝日では、「利用する必要はない」と回答した割合が79.5%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（7.7%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（5.1%）の順になっている。

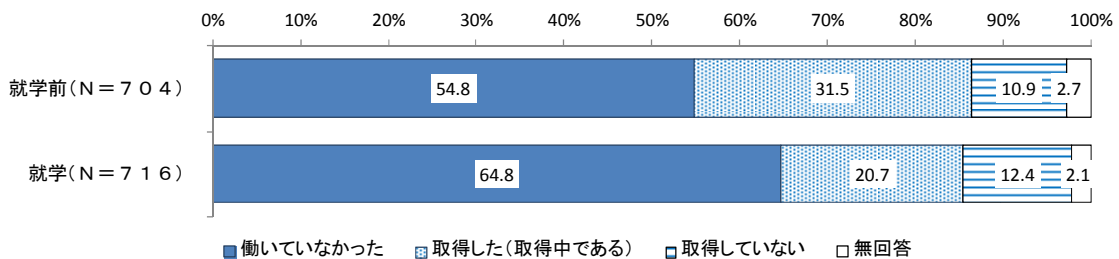
休暇期間中では、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と回答した割合が35.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」と回答した割合が59.0%となっている。



育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

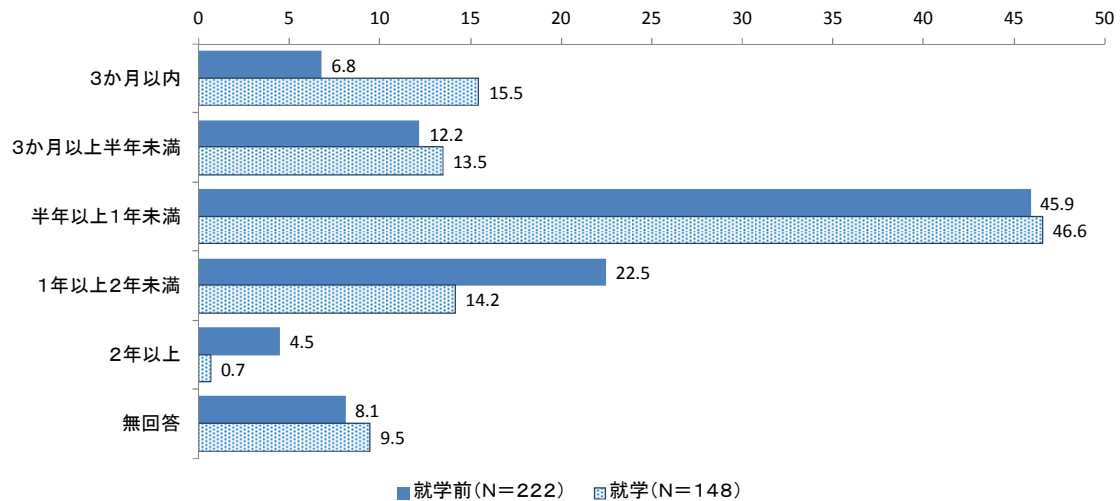
■育児休業（母親）

母親の育児休業について、「取得した（取得中である）」と回答した割合は、就学前では31.5%、就学では20.7%となっている。



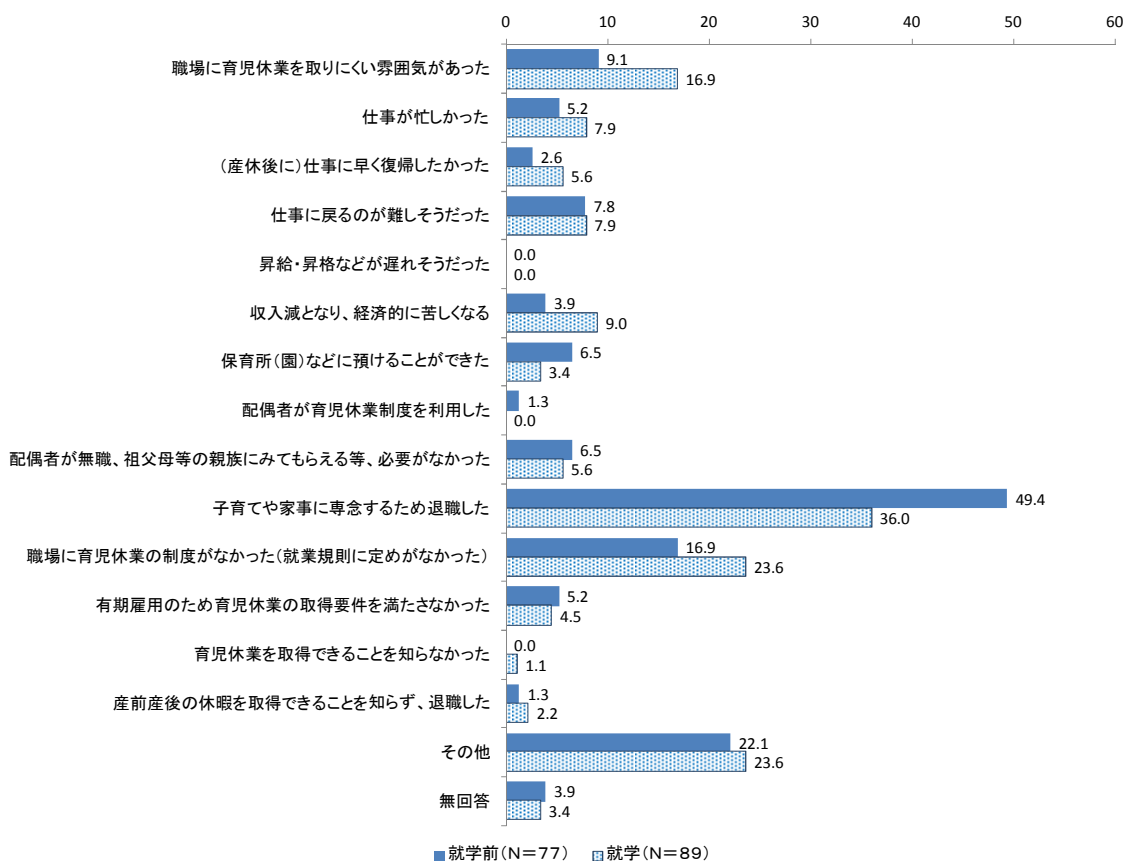
【育児休業期間（母親）】

母親の育児休業期間について、就学前・就学ともに「半年以上 1 年未満」と回答した割合が 4 割以上と最も高くなっている。



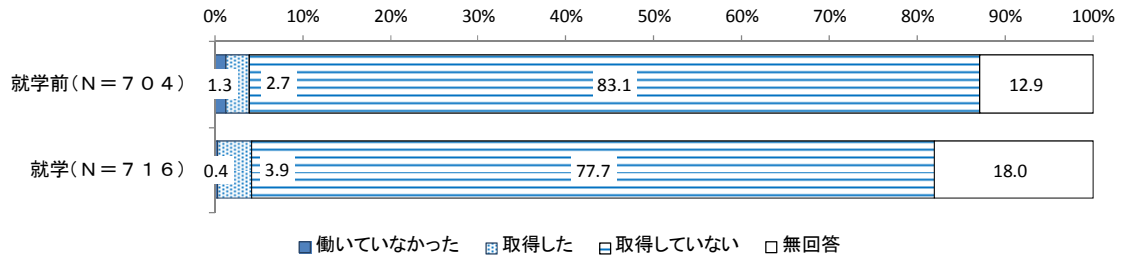
【育児休業を取得していない理由（母親）】

母親が育児休業を取得していない理由について、就学前・就学ともに「子育てや家事に専念するため退職した」と回答した割合が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と回答した割合が高くなっている。



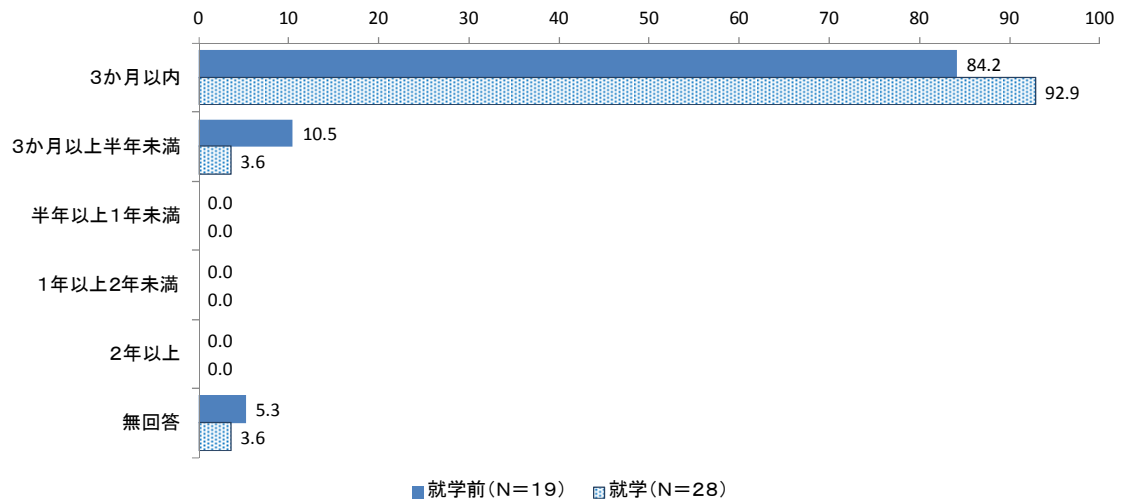
■育児休業（父親）

父親の育児休業について、就学前・就学ともに「取得していない」と回答した割合が8割程度と高くなっている。



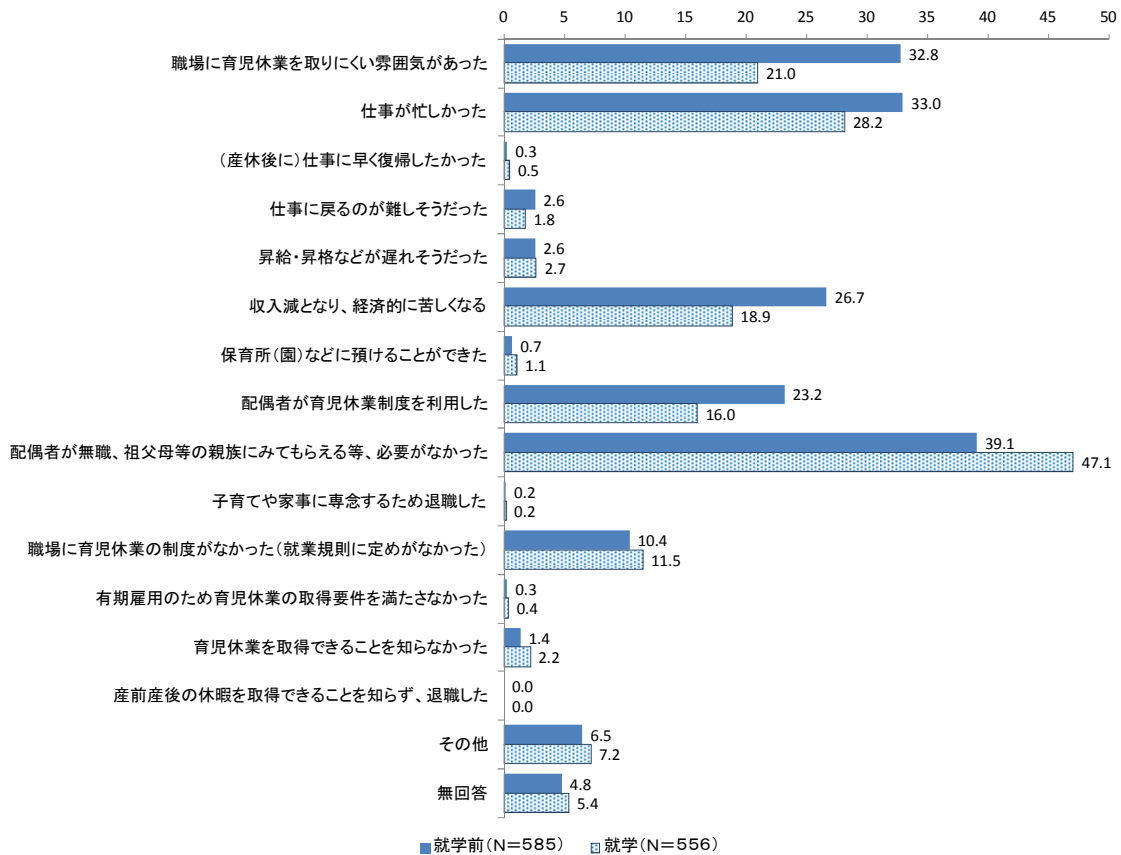
【育児休業期間（父親）】

父親の育児休業期間について、就学前・就学ともに「3か月以内」と回答した割合が8割以上と最も高くなっている。



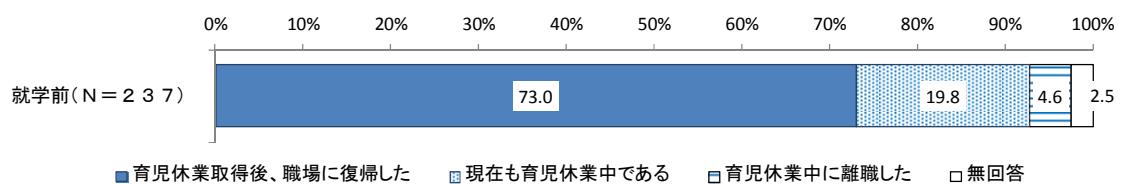
【育児休業を取得していない理由（父親）】

父親が育児休業を取得していない理由について、就学前・就学ともに「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、必要がなかった」と回答した割合が最も高く、次いで「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」「配偶者が育児休業制度を利用した」と回答した割合が高くなっている。



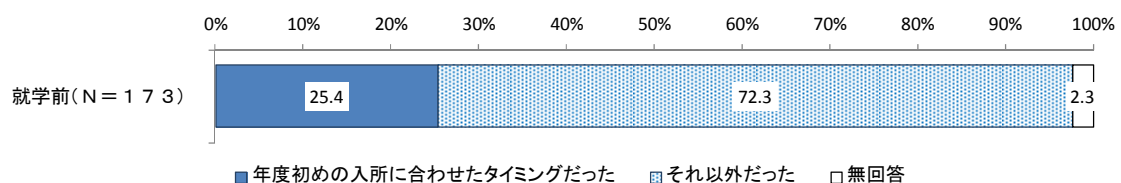
【育児休業取得後、職場に復帰したか】

育児休業取得後、職場に復帰したかについて、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合が73.0%と最も高くなっている。



【育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか】

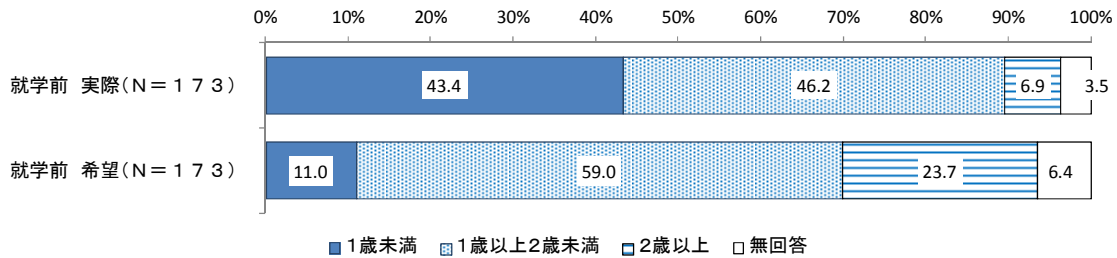
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだったかについて、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した割合が25.4%、「それ以外だった」と回答した割合が72.3%となっている。



【育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰したか。また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取得したかったか】

育児休業から職場への復帰について、実際については「1歳以上2歳未満」と回答した割合が46.2%と最も高く、次いで「1歳未満」(43.4%)、「2歳以上」(6.9%)の順になっている。

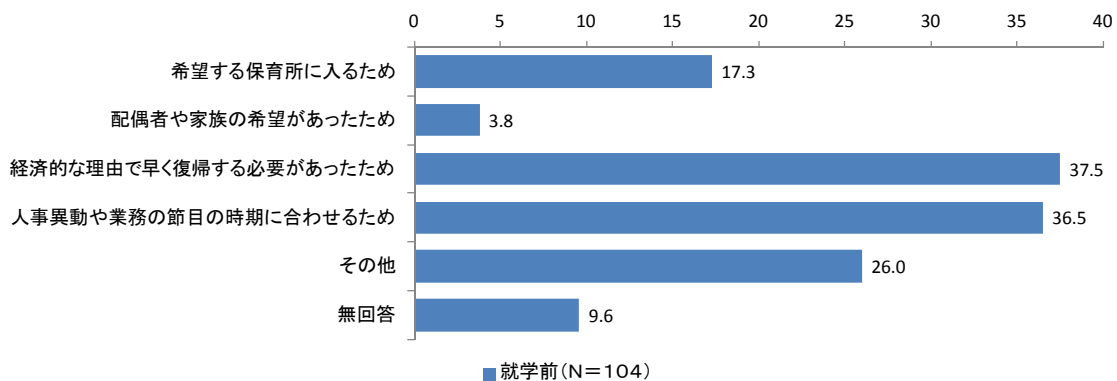
希望については、「1歳以上2歳未満」と回答した割合が59.0%と最も高く、次いで「2歳以上」(23.7%)、「1歳未満」(11.0%)の順になっている。



【希望の時期に職場復帰しなかった理由】

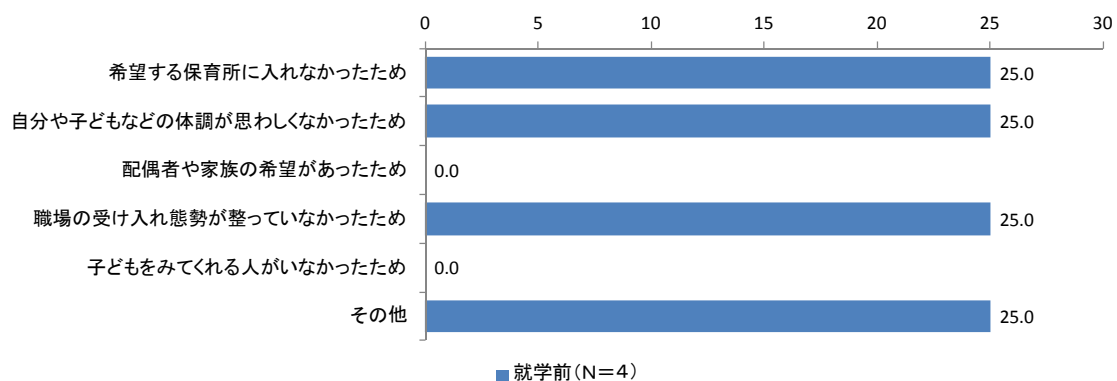
○「希望」より早く復帰した方

「希望」より早く復帰した方の理由について、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」と回答した割合が37.5%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(36.5%)の順になっている。



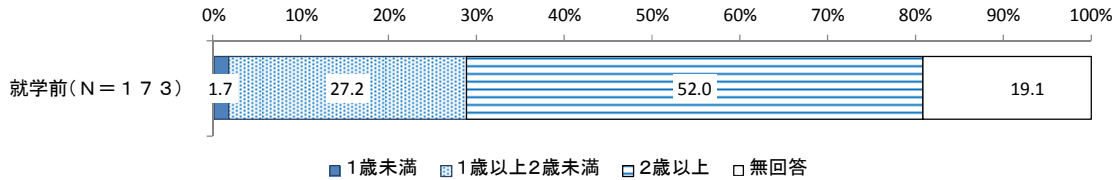
○「希望」より遅く復帰した方

「希望」より遅く復帰した方の理由について、「希望する保育所に入れなかったため」「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」となっている。



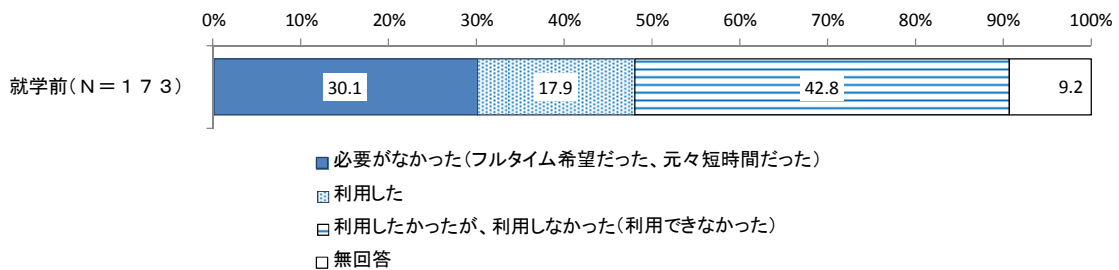
【勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったか】

勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったかについて、「2歳以上」と回答した割合が52.0%と最も高く、次いで「1歳以上2歳未満」(27.2%)、「1歳未満」(1.7%)の順になっている。



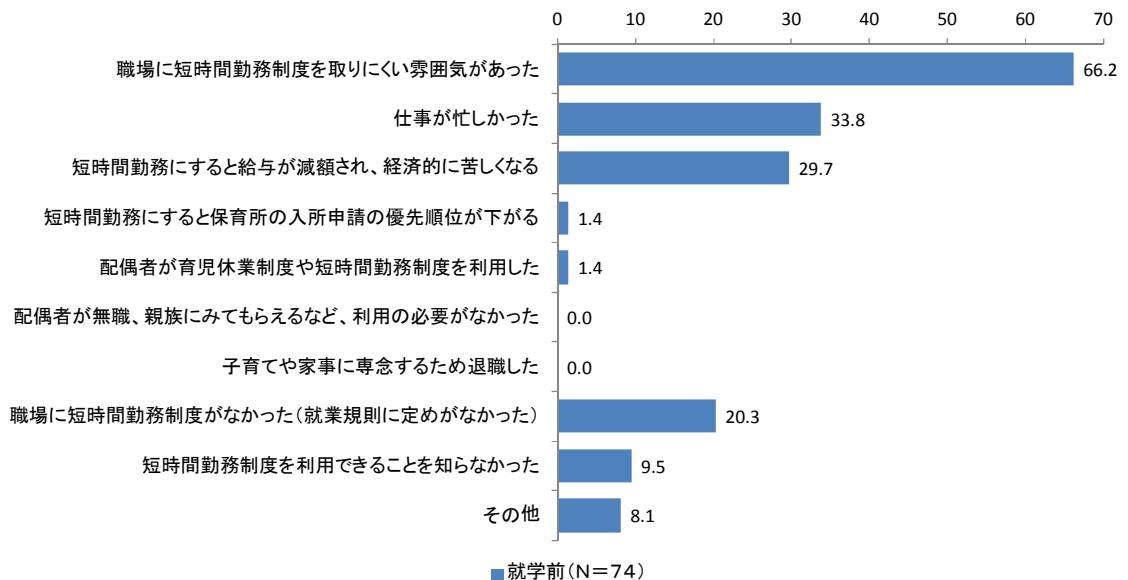
【育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したか】

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したかについて、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した割合が42.8%と最も高く、次いで「必要がなかった(フルタイム希望だった、元々短時間だった)」(30.1%)、「利用した」(17.9%)の順になっている。



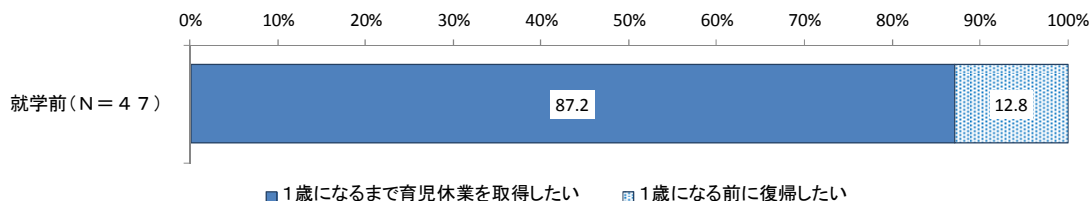
【短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由】

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由について、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と回答した割合が66.2%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」(33.8%)、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(29.7%)の順になっている。



【あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育園などの事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰するか】

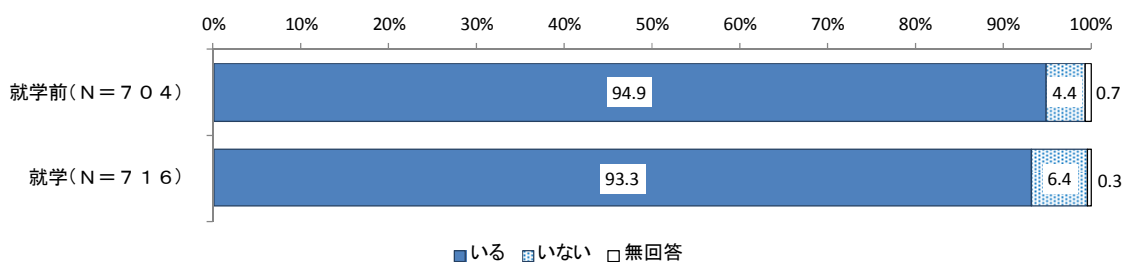
お子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育園などの事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますかについて、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した割合が87.2%、「1歳になる前に復帰したい」と回答した割合が12.8%となっている。



子育て全般についてうかがいます。

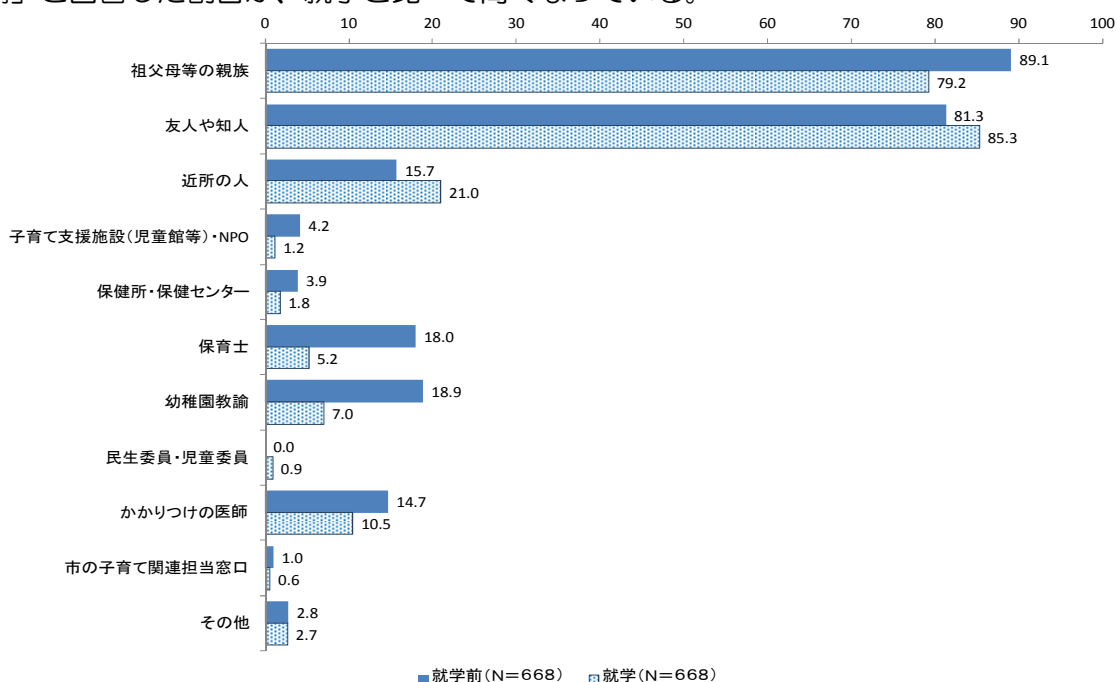
■子育てについて、気軽に相談できる人（近所の人・友人）の有無

子育てについて、気軽に相談できる人（近所の人・友人）の有無について、「いる」と回答した割合は、就学前・就学ともに9割以上となっている。



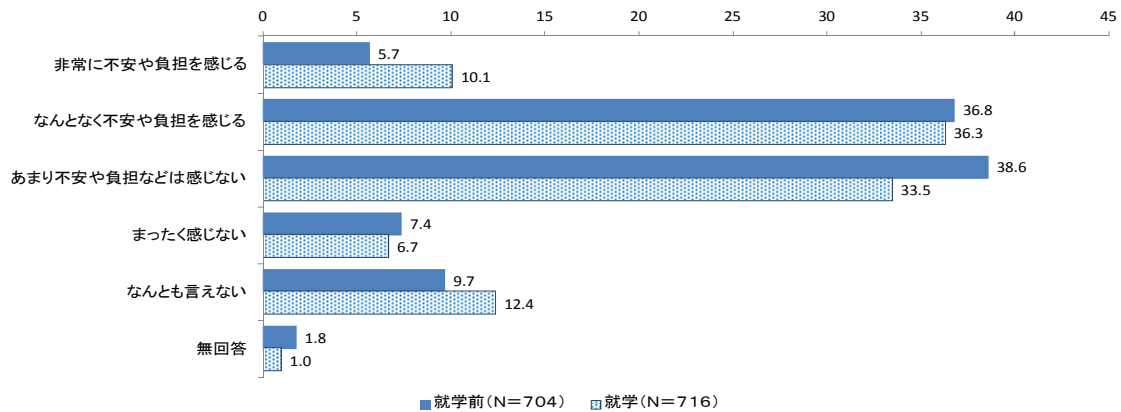
【気軽に相談できる人（近所の人・友人）】

子育てについて、気軽に相談できる人（近所の人・友人）について、就学前・就学ともに「祖父母等の親族」「友人や知人」と回答した割合が高くなっている。また、就学前では「保育士」「幼稚園教諭」と回答した割合が、就学と比べて高くなっている。



■子育てに関する不安や負担

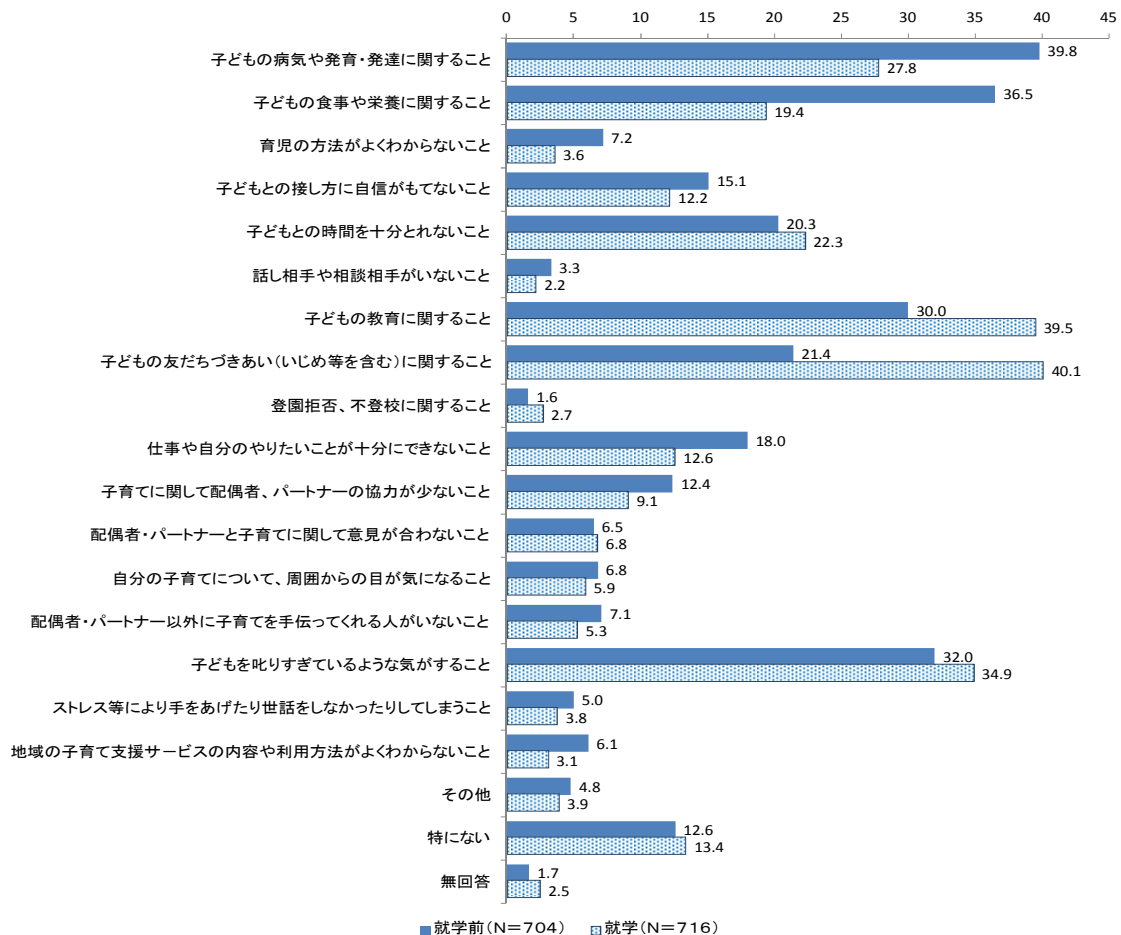
子育てに関する不安や負担について、【子育てに不安や負担を感じる（「非常に不安や負担を感じる」または「なんとなく不安や負担を感じる」）】と回答した割合は、就学前では 42.5%、就学では 46.4%となっている。



■子育てに関して、日常的に悩んでいること、または気になること

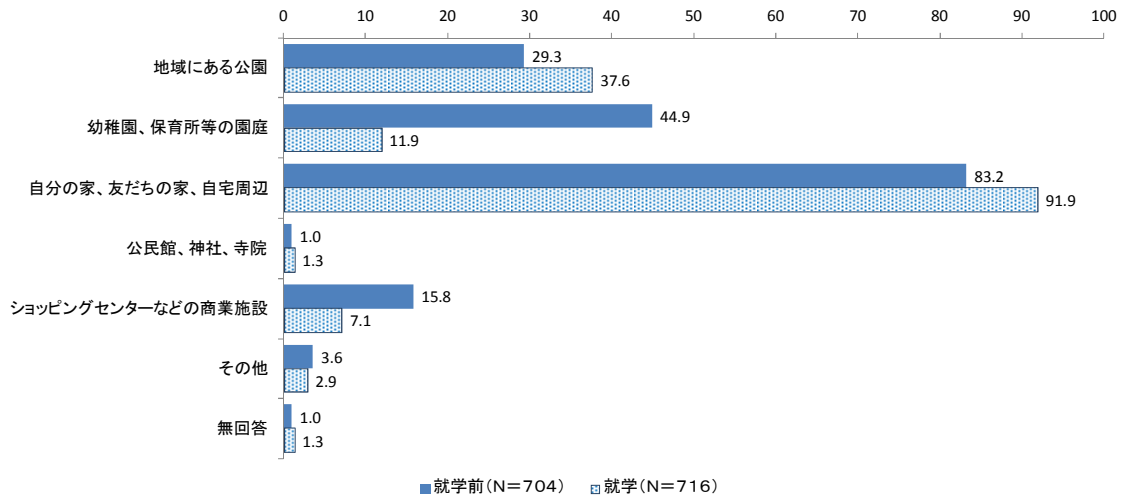
子育てに関して、日常的に悩んでいること、または気になることについて、就学前では、「子どもの病気や発育・発達に関すること」と回答した割合が 39.8%と最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」(36.5%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(32.0%)の順となっている。

就学では、「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」と回答した割合が 40.1%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」(39.5%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(34.9%)の順となっている。



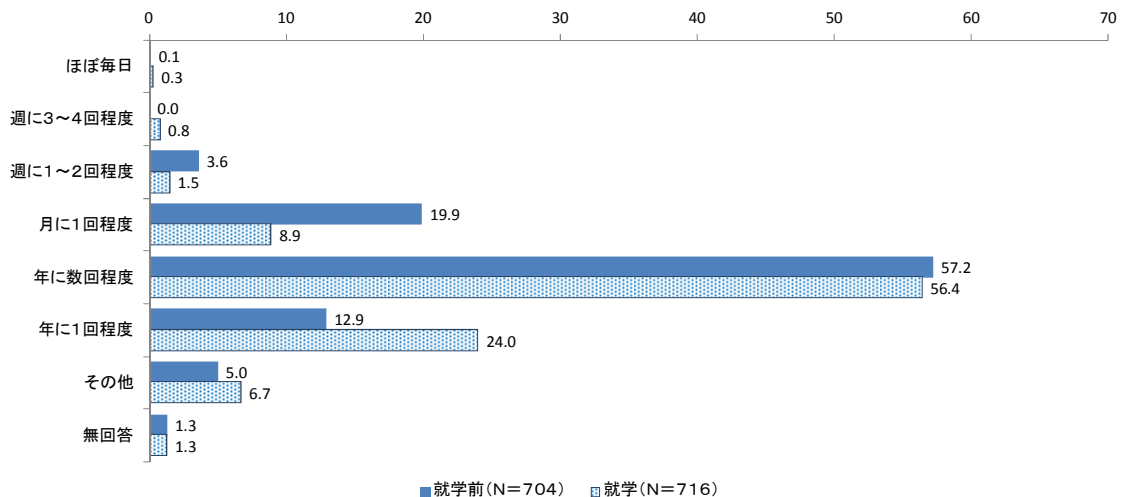
■お子さんの普段の主な遊び場

お子さんの普段の主な遊び場について、就学前・就学ともに「自分の家、友だちの家、自宅周辺」と回答した割合が9割程度と高くなっている。また、就学前では「幼稚園、保育所等の園庭」「ショッピングセンターなどの商業施設」、就学では「地域にある公園」と回答した割合が高くなっている。



■「ときわ公園」の利用頻度

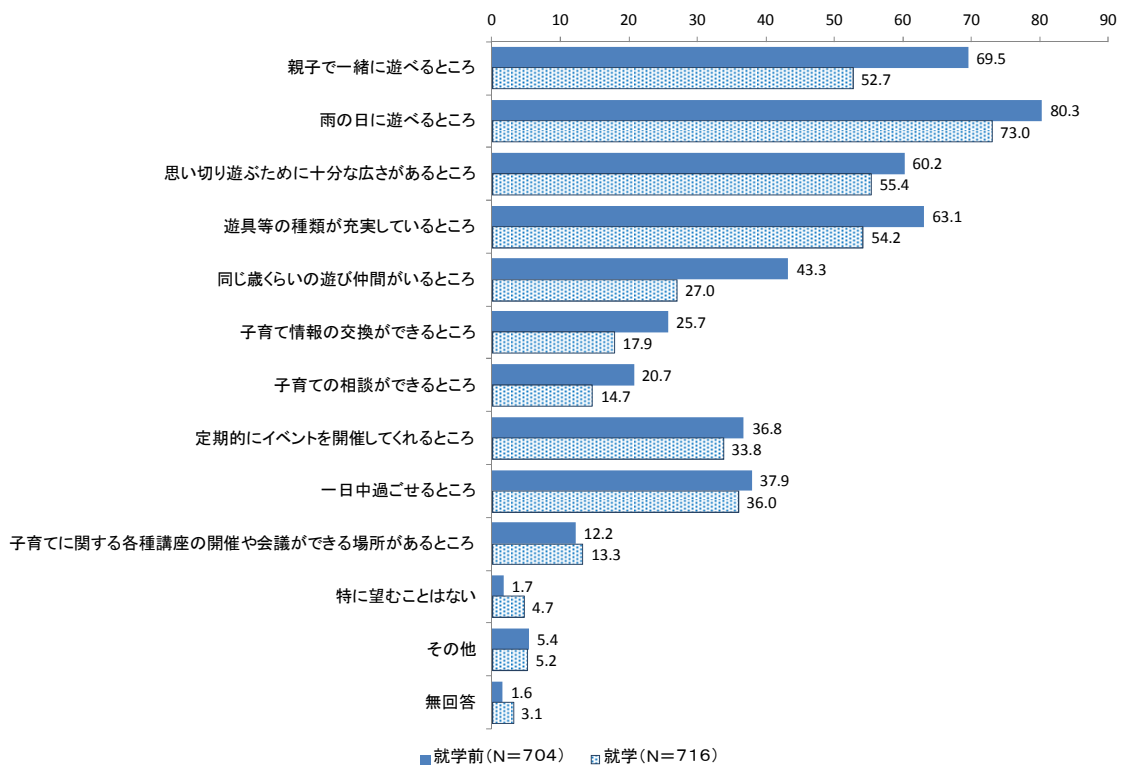
「ときわ公園」の利用頻度について、就学前・就学ともに「年に数回程度」と回答した割合が6割程度と高くなっている。また、就学前では「月に1回程度」、就学では「年に1回程度」と回答した割合が2番目に高くなっている。



■宇部市に子どもプラザ（乳幼児など子どもたちの遊び場づくりや子育て情報の受発信などを目的とした総合的な施設）が整備されるとしたら何を望むか

宇部市に子どもプラザが整備されるとしたら望むことについて、就学前では、「雨の日に遊べる場所」と回答した割合が80.3%と最も高く、次いで「親子で一緒に遊べる場所」（69.5%）、「遊具等の種類が充実している場所」（63.1%）の順となっている。

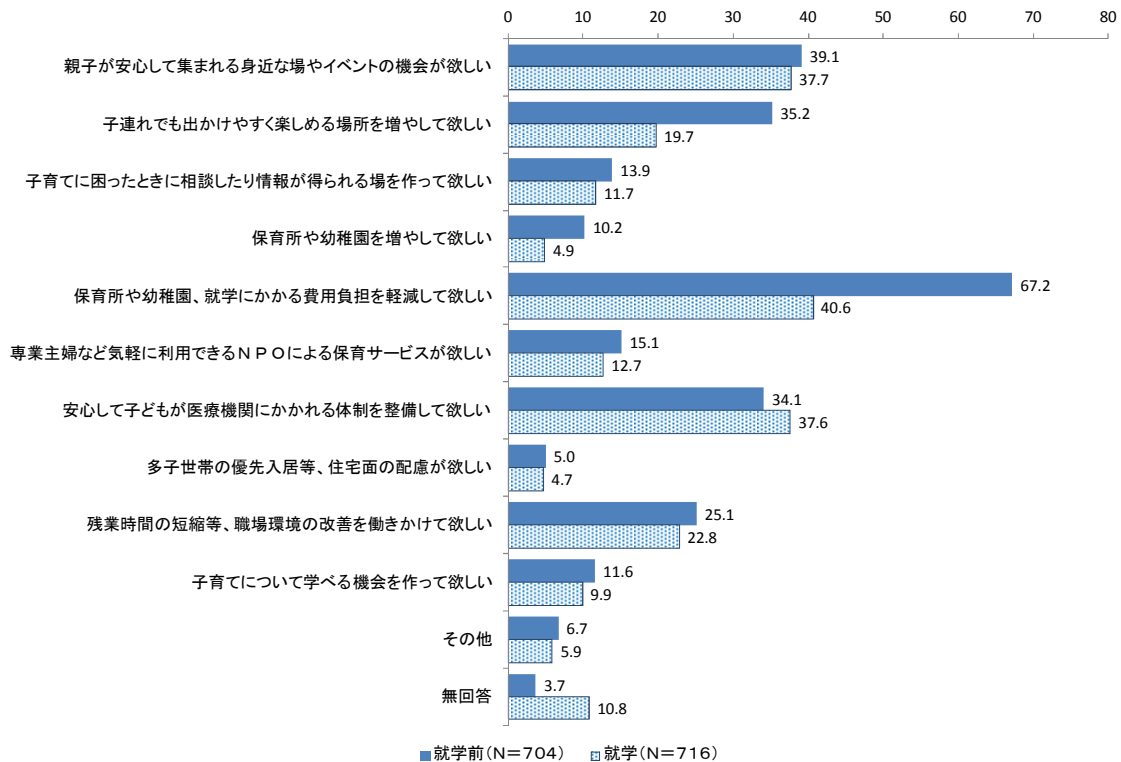
就学では、「雨の日に遊べる場所」と回答した割合が73.0%と最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがある場所」（55.4%）、「遊具等の種類が充実している場所」（54.2%）の順となっている。



■市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいか

市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいかについて、就学前では、「保育所や幼稚園、就学にかかる費用負担を軽減してほしい」と回答した割合が67.2%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会が欲しい」(39.1%)、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」(35.2%)の順となっている。

就学では、「保育所や幼稚園、就学にかかる費用負担を軽減してほしい」と回答した割合が40.6%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる身近な場やイベントの機会が欲しい」(37.7%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」(37.6%)の順となっている。



■あなたにとって「宇部市」は子育てがしやすいまちか

あなたにとって「宇部市」は子育てがしやすいまちかについて、就学前・就学ともに「はい」と回答した割合は4割程度となっている。

